

【令和3年度総括報告】

公益法人に移行して10年目を迎えた今年度も新型コロナウイルス感染症の感染拡大が収まらないまま、新型コロナ第3波から第6波の到来、兵庫においても令和3年4月25日～6月20日、8月20日～9月30日に緊急事態宣言、また、まん延防止等重点措置が4回（令和3年4月5日～4月24日、6月21日～7/11日、8月2日～8月19日、令和4年1月27日～3月21日）あり、行事や会議の休止や自粛が相次ぎました。現在でも収束が見られない中、「3つの密」を回避した新しい生活様式やオンラインによる行事の開催等取り入れてまいりました。

ろう者の生活と権利を守りながら地域のろう者当事者団体として1年間活動を推進してきました。以下のとおり報告いたします。

【全国の運動】

一般財団法人全日本ろうあ連盟は、コロナと共存できる社会に向けて「新型コロナウイルス危機管理対策本部」による取り組みを継続し、引き続き、医療・教育・生活・法律・地域の各支援チームによる聴覚障害者のいのちや生活を守るための取り組みを続けています。

手話言語条例については、令和3年度も地方自治体に於いて次々と制定され、令和4年3月末時点で、33都道府県16区319市81町3村の計452自治体で手話言語条例が制定されています。全国手話言語市区長会は606市区長の入会があり、兵庫はすべての市（29市）が正会員として加入しています。準会員に多可町が加入しています。また、「情報・コミュニケーション法」（仮称）の制定も課題として取り組みがされています。

デフスポーツでは、デフリンピック2025の東京招致に向けた活動を多方面で展開しており、正式決定を待つとともに国民のデフスポーツに対する関心を高めていく取り組みがされています。

旧優生保護法を巡る東京高等裁判所は令和4年3月11日、大阪高等裁判所の逆転判決（2月22日）に続き、国に1500万円の賠償を命じる判決を言い渡しました。しかし、国は大阪判決と同様に判決を不服として上告されました。上告を取り下げる運動そして最高裁判所とのたたかいを想定して現在、全国の裁判支援団体が力を合わせ全国集会の開催や組織づくりを進めています。

【兵庫の運動】

新型コロナウイルス感染症は令和3年度も衰えず、コロナ関連の知事会見は現在も手話通訳が配置されています。聴覚障害者情報センターでは引き続き動画による配信やコロナに関する医療現場の聴覚障害者の情報・コミュニケーション保障として遠隔手話通訳サービスの導入をはじめワクチン接種においては聴覚障害者への配慮に関する要望書を提出するなど取り組みました。地域ろうあ協会に於いてもワクチン接種に関して要望を自治体に働きかけてもらうよう取り組みました。今後も手話言語による情報配信や医療等生活において情報コミュニケーションに保障が進むよう続けていきます。

「手話言語条例」制定に関しては、令和3年度中に市議会で手話言語条例を可決した自治体は、猪名川町と川西市です。合わせて県内は28自治体（26市2町）で手話言語条例が制定されています。施行後の手話言語に係る施策を推進していくことも重要な課題です。今後も県及び未制定の自治体に手話言語条例が制定されるよう県下各ろうあ協会、手話関係者等とともに、議会や行政に働きかけましょう。なお、兵庫県手話言語条例（仮称）の制定については、県に要望書を提出しました。まだ条例制定への動きが見られず、引き続き働きかけていきます。

会員拡大については昨年比2名減少の646名でした。行事の開催についてオンラインの活用をしながら可能な限り対面での開催を行ってきました。「第55回全国ろうあ者体育大会 in 兵庫」に参加したい会員や新規会員の入会がある一方で退会された会員もいました。それについてはコロナ禍で大会の中止が相次いだことや経済的な理由などさまざまな要因が挙げられますが、地域ろうあ協会と連携を取りながら課題の克服に取り組みたいと思います。

旧優生保護法による聴覚障害者の強制不妊手術、断種、中絶の問題について、施行した国に対して、子どもを産む権利や育てる権利を奪われた障害者が全国各地で訴訟が展開されています。兵庫の裁判は令和3年8月3日に神戸地方裁判所で判決がありました。旧優生保護法が幸福追求権などを定める憲法に違反していること。さらに、国会議員が長期にわたってその違憲状態を放置し優生条項を改廃しなかったことを初めて違法と認め、原告に損害賠償の権利があったことを認めました。しかし、除斥期間（20年）の経過を理由に原告からの賠償請求は棄却されました。原告はこの判決を不服として大阪高等裁判所に上告しました。

日本聴力障害新聞の取り組みは、目標（読者数）1,006部のところ585部、季刊みみは、目標503部のところ170部で未達成でした。今後とも拡大にご協力をお願いします。

【協会の事業】

兵庫県ろうあ者大会（加古川）は中止となりましたが、兵庫県ろうあ者新年大会兼成人祝いのつどい（明石）は三密に留意しながら実施しました。また、オンラインを用いた会議、学習会、講演会等を開く取り組みも行いました。

第55回全国ろうあ者大会 in 兵庫を9月16日～19日、実施の方向で準備を進めてきましたが、予想を超える新型コロナウイルス感染症拡大のため、選手、スタッフ、競技審判員等の命と安全を第一に考え断腸の思いで中止決定いたしました。

兵庫県立聴覚障害者情報センター、たじま聴覚障害者センター、はりまふくろうの家、にしのみや聴覚障害者センター、たつのころうあハウス、たつのご工房、ひょうご聴覚障害者介護支援センターの運営事業に関してもコロナ禍の中、行政機関をはじめ関係機関、地域ろうあ協会等と連携を図りながら、円滑な運営に努めています。各事業所においてもコロナ禍による減収があり、安定した運営が課題となっています。今後も聴覚障害者の権利と生活を守りながら、さまざまな課題の解消に向けて取り組んでいきます。

【今後の取り組み】

当協会に結集する仲間を増やすために地域協会と連携を取りながら、会員拡大や未組織地域のろうあ協会の結成や組織強化に取り組みましょう。

施設づくりについては、神戸長田ふくろうの杜に続き、令和3年6月1日に平野ふくろうの樹を開所したことは明るいニュースです。兵庫県下には、聴覚障害者のための社会資源は、まだまだ少ないのが実情です。県下各地で聴覚障害者の拠点を作っていけるよう取り組みましょう。

新型コロナウイルス感染症の収束が見られない中、コロナと共存していくためにワクチン接種が浸透していますが、聴覚障害者がワクチン接種で不利とならないよう、手話言語による情報発信、情報保障につとめていきます。また、地域の意思疎通支援事業においても情報・コミュニケーション保障が充実するように取り組んでいきましょう。

今後とも聴覚障害者に対する理解を広め、社会参加を促進し、聴覚障害者及び手話を学ぶ者をはじめ、県民すべてに聴覚障害関連及び福祉の増進に関する事業を行い、社会福祉の発展に寄与してまいります。

公一1 聴覚障害者の福祉向上のための事業

(概要)

聴覚障害者の生活支援や文化的活動および手話通訳者等の養成・派遣、一般企業や障害者事業所を利用されることが困難な障害者に就労、生きがいの場の提供、調査研究などを通じて聴覚障害者の福祉向上を図っている。

1. 手話通訳者などの講師養成事業

県及び市町村レベルの手話奉仕員・手話通訳者養成講習会の指導者を養成する。

(1) 手話奉仕員養成事業講師講習会

ア. 開催期間：入門編 令和3年7月26日（月）～令和4年1月24日（月）全15回

イ. 開催場所：宝塚福祉コミュニティプラザぷらざこむ1

ウ. 受講人数：28名（ろう者12名、聞こえる人16名） 【修了者27名】

(2) 手話通訳者養成事業講師研修会

ア. 開催期間：手話通訳Ⅰ 令和3年度は中止

2. 手話学習会

(1) 手話対策部学習会

県内の手話対策部長や関係者が集い、学習や情報・意見交換を行うと共に今後の運動に結びつけていく。

ア. 開催日時：令和3年11月23日（祝）

イ. 開催場所：あすてっぴ KOBE

ウ. 参加人数：14名

エ. 情報意見交換「意思疎通支援事業（養成・派遣）、手話検定について」

3. 講師派遣事業

手話講座を主催している団体（学校、手話サークル等）からの要請に応じて、講師を派遣。

(1) 内容

手話奉仕員養成・通訳者養成講座（実技、講義）、手話通訳者現任研修会、手話言語条例、兵庫県の災害と防災について、聴覚障害者支援事業について、ろうあ運動、相談支援研修会など

(2) 派遣回数 649回

小学校・高等学校4回、大学・短大・専門学校60回、奉仕員養成（実技）47回、通訳者養成112回、奉仕員養成（講義）43回、通訳者養成（講義）43回、レベルアップ講座等奉仕員14回、通訳8回、統一試験対策50回、現任研修会36回、講師養成研修18件、学習会15回、講演・シンポジウム11回、要約筆記者養成（講義）8回、中途失聴者・難聴者関係6回、その他9回、県民向け・若者向け手話講座等165回

(3) 講師

当法人理事、認定手話通訳者、登録講師

(4) 講師研修会

ア. 開催日時：新型コロナウイルス感染症拡大のため中止

4. 手話通訳認定事業

(1) 手話通訳者派遣事業の円滑な運営を図るため、実技及び面接などによる選考を行い、合格した手話通訳者を当協会の認定手話通訳者として登録する。

ア. 開催日時：令和4年2月26日（土）9時半～12時

イ. 開催場所：神戸市勤労会館

ウ. 受験者数：3名

エ. 合格者数：2名

5. 手話通訳者派遣事業

(1) 認定手話通訳者派遣

ア. 派遣回数 777件

(2) 認定手話通訳者研修会

第1回研修会

- ・日 時：令和4年3月30日
- ・場 所：兵庫県立聴覚障害情報センター
- ・出席者：11名
- ・内 容：テレビ等における手話通訳について

第2回研修会

- ・日 時：令和4年3月31日（水）
- ・場 所：兵庫県立聴覚障害者情報センター
- ・出席者：15名
- ・内 容：旧優生保護法について

6. ろうあ兵庫

令和3年度の「ろうあ兵庫」編集活動においては、兵聴協として重点的に取り組んでいる事項についてトップページに掲載しました。また、コロナウイルスに関する記事も載せてきました。各部の記事については定期的に情報を掲載してきました。掲載については、前年度に続き、各部ごとに半ページに縮小し、空白・無駄を省き、読みやすいようにフォントの統一などを行いました。令和3年11月号には発行より500号を迎え、過去に掲載された記事の特集を2回に分けて掲載しました。また、編集の体制を整え、発行日である毎月の1日に読者にお届けできるよう努めてまいりました。今後とも、聴覚障害者福祉の向上及び啓発のため、ろうあ運動を中心に掲載してまいりたいと思います。

主な内容

- ・4月号 第493号：神戸地方裁判所に署名14,475筆を提出する 等 (10頁)
- ・5月号 第494号「咲む」上映会を兵庫各地で実施しましょう！ 等 (12頁)
- ・6月号 第495号：3回目の緊急事態宣言が発令！ 等 (10頁)
- ・7月号 第496号：第10回総会無事終了しました！ 等 (12頁)
- ・8月号 第497号：決起集会開催される！ 等 (10頁)
- ・9月号 第498号：旧優生保護法賠償兵庫訴訟の判決が下される！ 等 (12頁)
- ・10月号 第499号：第22回ろう教育フォーラムを開催しました！ 等 (12頁)
- ・11月号 第500号：第71回近畿ろうあ者大会in滋賀が開催 等 (12頁)
- ・12月号 第501号：第7回兵庫県ろうあ者討論集会 等 (12頁)

- ・1月号 第502号：新年のあいさつ 等 （12頁）
- ・2月号 第503号：みんなが暮らしやすい社会を目指して 等 （12頁）
- ・3月号 第504号：優生保護裁判の勝利をめざす全国集会在開催 等 （12頁）

7. 調査研究事業

- (1) 兵庫県41市町における障害者差別解消支援地域協議会（聴覚）、重度障害者(児)日常生活用具給付等事業等、兵庫県41市町における身体障害者相談員（聴覚）設置に関する調査を分析し、また緊急議案令和3年度報告及び旧優生保護法被害者による裁判について状況報告、「障害者のグループホームならびに居住支援のあり方」に関する緊急要望及び全ろう重複協GHアンケート集計、全日本ろうあ連盟福祉労働委員会より取り組み報告（参考資料）等をまとめて、それぞれの事業の現状等情報収集を各協会に配布しました。（福祉対策部）
- (2) 県内意思疎通支援事業実施の自治体に対する調査（手話対策部）
障害者総合支援法における県内41市町の意思疎通支援事業の実施状況（手話通訳者派遣）、自治体に提出する要望書の参考（ひな形）を各協会に配布しました。
- (3) 手話協力員実態調査（労働対策部）
令和3年度の調査研修の内容は、労働問題、全国都道府県における手話協力員が配置されている各職業安定所において職業安定所の現状を把握し手話協力員の実施状況の内容を各協会に配布しました。

8. ろうあ相談員等研修事業(生活問題対策事業)

(1) 生活問題対策部会議

第1回生活問題対策部会議

- ・日 時：令和3年5月29日（土）午後1時半～3時
- ・場 所：オンライン会議（ZOOM）
- ・出席者：8名（身障者相談員4名、ろうあ相談員1名、福祉対策部3名）
- ・報告内容：福祉対策部からの連絡、新型コロナウイルス感染症による状況報告、各地域の情報交換、ひょうご労働福祉2021開催について案内等

第2回生活問題対策部会議

- ・日 時：令和3年9月5日（日）午後1時半～3時
- ・場 所：オンライン会議（ZOOM）
- ・出席者：10名（身障者相談員5名、ろうあ相談員1名、福祉対策部4名）
- ・報告内容：福祉対策部からの連絡、困難や悩み事、各地域の情報交換及び意見交換、その他

第3回生活問題対策部会議

- ・日 時：令和4年1月29日（土）午後1時半～3時
- ・場 所：オンライン会議（ZOOM）
- ・出席者：9名（身障者相談員6名、福祉対策部3名）
- ・報告内容：福祉対策部からの連絡、新型コロナウイルス感染症による困難や悩み事、各地域の情報交換及び意見交換、その他

9. 手話普及啓発事業

(1) 若者対象手話講座の実施

県内の高等学校、大学に在籍する学生を対象に聴覚障害者への理解促進と手話の普及に向け、講座を開催しました。

【回数】147回

【内容】講義（聴覚障害について、聞こえない人の暮らしについて 等）
手話講座

(2) 出前手話講座の実施

県内の施設、団体、企業等で勤める職員等を対象に聴覚障害者への理解促進と手話の普及に向け、講座を開催しました。

【回数】3回

【場所】企業、事業所、団体 等

【内容】講義（聴覚障害について、聞こえない人の暮らしについて 等）
手話講座、接客方法の体験 等

(3) 親子向け（聴覚障害児等）手話教室「ひよこ」

聴覚障害児に手話等に触れながら、手話を通じたコミュニケーションを図る教室を開催する。

【開催回数】7回 + 動画作成

(4) 講師スキルアップ講座の開催

統一試験対策講座 2回

(5) 手話通訳者レベルアップ講座の開催

手話通訳者をめざす人の通訳レベルアップを図るための講座を開催しました。

令和3年10月13日（水）～11月28日（日）

5会場（神戸、宝塚、加古川、相生、朝来）×各4回 計20回

受講者 37名

(6) 手話普及促進事業（兵庫県からの受託事業）

県民に広く聴覚障害に対する理解を深め、手話に関心を持ってもらうための講座を開催した。

期 間：令和3年7月25日（日）～令和4年1月23日（日）

回 数：全15回（一般県民向け15回）1回2時間

会 場：神戸市4、姫路市、尼崎市、川西市、三木市、稲美町、丹波篠山市、朝来市、たつの市、
洲本市、市川町、オンライン会場

受講者：延べ111名（申込者：175）

内 容：手話普及啓発講座「はじめての手話講座」

聴覚障害や手話についての講義、手話実技、グループ交流

10. たじま聴覚障害者センター

(1) 就労継続支援B型事業

令和3年度は、従来の通り障害者総合支援法のうち就労継続支援B型事業を利用して但馬地域に在住する障害者のうち、主に聴覚障害者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるように、創作活動、生活に関する情報や学習会等の生きがい活動の場と請負作業、施設外就労等の就労の場を提供し、

その利用を通して知識及び能力の向上及び就労への移行等の支援を実施しました。

当事業所では高齢者が多いので、身体機能低下予防のためにコロナ禍でも感染防止対策をしながら、月2回の体操教室は継続して行いました。

長らくお休みした利用者自治会が昨年8月に再開し役員選出を行いました。9月に豊岡ろうあ協会との懇談会を行い、利用者自治会と職員とともに意見交換を行いました。今後とも年1回は継続的に意見交換の場を設けることを確認しました。

ア. 日時

月曜日～金曜日（祝祭日除く） 午前9時～午後5時

イ. 場所

豊岡市城南町23番6号 豊岡健康福祉センター2階

ウ. 定員・利用実績

19名・延べ3,373名

エ. 作業内容

- ・請負作業：ポリちぎり作業、自動車部品ゴムバリちぎり作業、牛革製品両面テープ貼り作業、ランドセル手縫い工程作業、プラコップシール貼り作業。
- ・自主作業：アルミ缶、段ボール、古紙回収・自主製品製作、販売

(2) 相談支援事業

令和3年度は、従来の通り豊岡市内在住の障害者、障害児の保護者の意思及び人格を尊重し、利用等の立場に立った適切な指定計画相談支援事業を実施しました。

新型コロナウイルスの影響により訪問、利用者の来所での直接面談の代わりに電話、メール、FAX、郵送で対応しました。

ア. 日時

月曜日～金曜日（祝祭日除く） 午前9時～午後5時

イ. 場所

豊岡市城南町23番6号 豊岡健康福祉センター2階

ウ. 件数

- ・計画作成 63件
- ・モニタリング 133件
- ・基本相談12件

(3) 児童通所支援事業

児童福祉法のうち、児童発達支援事業、放課後等デイサービスを利用して豊岡市内に在住する障害児が日常生活における基本的動作指導、集団生活への適応訓練、生活向上のために必要な支援など実施しました。

令和3年度は但馬地域の特別支援学校では新型コロナウイルスによる臨時休校等はありませんでしたが、市内の学校で感染拡大した時期もあり、感染予防対策をしっかりと行っていたとしても利用者を増やすことが難しく、厳しい経営状況が続いていました。また配置基準に合った資格を持つ職員の確保が難しく、今後事業を継続していくのは非常に困難であると判断し、断腸の思いですが閉所することになりました。なお、利用者については保護者への意向調査を行い、個々の希望に添って相談支援事業所

や関係機関につなぎ、他の事業所への移行が円滑に行えるように支援しました。

ア. 日時

月曜日～金曜日（祝祭日除く） 午前10時～午後5時

イ. 場所

豊岡市城南町23番6号 豊岡健康福祉センター2階

ウ. 定員・利用実績

・延べ476名（児童発達支援・放課後等デイサービス）

（4）意思疎通支援事業

令和3年度は、従来の通り但馬地域における聴覚障害者の生活とその福祉の向上のため、手話通訳者等養成および要約筆記者派遣事業を受託して実施しました。

新型コロナウイルスの影響により開始日の延期がありましたが、対策を万全に整えて実施した結果、無事に終わることができました。

ア. 豊岡市手話奉仕員養成事業

- ・日程：6月26日～3月5日（基礎課程・全29回）
- ・場所：豊岡健康福祉センター
- ・受講者数：14名（基礎課程）

イ. 養父市朝来市合同手話奉仕員養成事業

- ・日程：6月23日～2月9日（基礎課程・全25回）
- ・場所：和田山公民館
- ・受講者数：11名

ウ. 香美町手話奉仕員養成事業

- ・日程：6月4日～1月7日（入門課程・全21回）
- ・場所：香住区中央公民館、香住文化会館
- ・受講者数：10名

エ. 新温泉町手話奉仕員養成事業

- ・日程：6月24日～2月17日（基礎課程・全25回）
- ・場所：浜坂多目的集会施設
- ・受講者数：7名

オ. 豊岡市要約筆記者派遣事業

- ・派遣実績：34件

カ. 豊岡市登録手話通訳者現任研修

- ・日程：10月29日、11月26日、12月17日、3月4日、3月18日（全5回）
- ・場所：豊岡健康福祉センター
- ・受講者数：延べ40名

11. はりまふくろうの家

令和3年度は、障害者総合支援法の就労継続支援B型事業を利用して、姫路市近郊に在住する聴覚障害者のうち、就職が困難な人たちに自立した日常生活又は社会生活を営むことができるように通所による就労の機会を提供し、下請作業や生活に関する情報や学習会等の活動を通じて、その知識及び能力の向上

のための訓練等を行いました。

姫路市が進める65歳以上の障害者を介護保険サービスに移行させる問題について、令和3年4月より65歳以上の利用者は0名となった。きょうされん兵庫支部からも状況確認や視察などあり、要望書も提出されたが、依然として介護保険サービスに移行させる方向であるとの回答が姫路市よりありました。現在は、姫路特別支援学校を卒業された1名、他事業所から移られた1名が増えたのですが、知的障害・精神障害などの利用契約が増加している状況です。コロナ禍のため、例会や行事等が相次いで中止になりましたが、例年通り就労継続支援A型事業所2ヶ所、聴覚特別支援学校、ヘルパー事業所といったところや、姫路作業所連絡会の市役所ロビー（はーとふるSHOP）出店を続けており、収益は大幅に減ることなく維持することができました。

(1) 日時

月曜日～金曜日 午前8時30分～午後4時30分

(2) 場所

姫路市東延末2-51 中川ビル1F 事業所内・外

(3) 定員・利用実績

18名・延べ1,431名

(4) 作業内容

ア. 請負作業：箸入れ、昆布の袋詰め、素麺の箱折り、バリ取り、商品袋詰め等

イ. 自主作業：おにぎり・お弁当、お菓子、畑作業

月・水・金曜日はA型事業所の利用者さん向けにお弁当の定期配達、木曜日は市役所ロビー（2～3回/月）にて、姫路作業所連絡会の加盟事業所としてはーとふるSHOPで販売しており、ほぼ完売しています。

2年程前より姫路聴覚特別支援学校等からお弁当を今でも継続してご注文を頂いております。

(5) その他

令和3年4月に姫路特別支援学校より知的障害者1名、令和4年3月に知的障害者1名。

(6) 年間行事

節分、クリスマス会、避難訓練

12. にしのみや聴覚障害者センター

障害者総合支援法に基づく地域活動支援センターとして、平成26年4月に開所。聴覚障害者が自立した日常生活又は社会生活を営むため、日常生活に関する学習や悩み事相談、その他の機会を提供しています。共通するコミュニケーションである「手話」を通して、共に学び、経験を重ねる場として活動しています。

令和3年度の活動としては、昨年8月、阪神国道駅から徒歩7分の場所に引っ越しをしました。旧センターは、阪神西宮駅や市役所から近く便利でしたが、2階にあり車イスの方の利用が難しいこと、また部屋が狭いことなどから転居先をずっと探していました。利用者は不便になってしまう方もいましたが、送迎の日数を増やして対応しています。以前より部屋の広さが約2倍になり、作業場のほかに交流のためのスペースを作ることができたので、将棋が好きな利用者が集まり、毎木曜日に将棋交流をしています。

新型コロナウイルス感染予防の対策としては、手洗い・うがいを徹底し、体温などの管理、作業の時間短縮などの取り組みを続けています。

また、学習会として、防災学習会・西宮市指定ごみ袋制度の説明会を開催しました。ほかにも利用者同士の交流を図るため、赤い羽根の歳末たすけあい募金の地域交流事業を活用してクリスマス会を行いました。

今後も利用者へ様々な情報提供を行い、また楽しんでいただけるような計画を立てていきたいと考えています。

(1) 日時（利用者時間）

月曜日～金曜日 10時～15時30分

※時間短縮の時 10時～15時

(2) 場所

西宮市馬場町5-7 メゾン・カトー201号室

8月より

西宮市津門大筒町9-17 シャトーファイブ大筒101号

(3) 定員・利用実績

15名・延べ2,029名

(4) 作業内容

請負作業：アイラブユーカーホルダー、シール貼り、封入作業 他

(5) その他

ア. 学習会

- ・1月：「防災学習会「大災害を乗り越えるために」新たな避難情報のテーマとして学習
- ・3月：生活系指定ごみ袋制度説明会

イ. その他

- ・12月：クリスマス会（利用者と職員のみ）

※社会福祉協議会の「歳末たすけあい募金」の補助

13. 尼崎聴覚障害者センター

(1) たつのころあハウス（就労継続支援B型事業）

主にろう重複障害者や、就労・生活に困難を抱える聴覚障害者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるように、請負作業、自主製品、施設外就労等の就労の場を提供し、創作活動、生活に関する情報や学習会等の生きがい活動の場と利用を通して知識及び能力の向上及び就労への移行等の支援を行います。「できないことをできるようにする」をモットーに、ひとりひとりの障害やコミュニケーション方法にあわせた支援を行っています。令和3年度もコロナ感染対策として毎日の検温・消毒・マスク着用、昼食時や生活の中での注意など繰り返し利用者に説明を行いました。作業は昨年度より安定し、また新しい取引先も増えたので忙しく仲間もやりがいを見出し工賃も例年より高く支払うことができました。

ア. 日時

月曜日～金曜日 午前9時～午後5時（仲間の作業は10時～15時半）

土・日・祝の開所日あり（不定期）

イ. 場所

尼崎市立花町4-8-12

ウ. 定員・利用実績

20名・延べ3350名

エ. 作業内容

- ・請負作業：紙袋作業、ラベル貼り作業・チラシ作業・箱折・販売用セット・ネジ・新聞作業
- ・自主作業：自主製品製作（ポップリ・ルームスプレー）販売
- ・施設外：（情報センター掃除・ポスティング・草抜き）

オ. その他

- ・ニウェルフェア（販売・啓発）
- ・日帰り旅行（布引ハーブ園）

(2) たつこの工房（地域活動支援センター）

新型コロナウイルス感染によるまん延防止措置が出ていても、利用者は休まず通所しています。感染防止対策に毎日の検温記録・アルコール消毒・マスク着用をしています。土曜・日曜の営業は休業。まん延防止措置が緩和になると、市役所で数回は販売がありました。レクリエーションは外出はせず、室内で高齢者一人でも作れる料理をしました。ひょうご聴障ネットより支援金でプロジェクターを購入しました。仕事がない時に、頭の体操として「間違い探し」が映すと利用者は熱中してやっていました。良い頭の体操になっています。感染症対策・コロナワクチン接種についてなど利用者へ情報提供は続けています。

ア. 日時

月曜日～金曜日 午前9時～午後5時（中間の作業は10時～16時）

イ. 場所

尼崎市立花町2-6-23

ウ. 定員・利用実績

14名・延べ1,588名

エ. 作業内容

請負作業：うどん製造・販売／ダッタンそば茶袋詰め入れ／乾燥糸こんにゃく袋詰め入れ / マスク作り

オ. その他

- ・まん延防止措置に伴い、月1回のレクリエーションは取りやめて室内で料理を作りました。3密を避けながら、うどん製麺・こんにゃく詰め作業・そば茶詰め作業をしました。

○尼うえるフェア ○簡単料理

- ・1年ぶりのプチ日帰り旅行（布引ハーブ園）では、ゴンドラリフトから眺める風景に癒され、一生懸命に花や草木を見てました。ランチではコロナ禍の影響で出された食事の数や量が少なく利用者は食べたあというより、もの足りなく不満顔でした。

公一2 兵庫県立聴覚障害者情報センター運営事業

身体障害者福祉法第34条に定める聴覚障害者情報提供施設の機能を有し、聴覚障害者の社会参加と自立を援助し、生活・文化の向上と福祉の増進を図ることを目的に運営を行いました。

設置：兵庫県・神戸市

運営（指定管理者）：公益社団法人兵庫県聴覚障害者協会

設置場所：神戸市灘区岸地通1-1-1 神戸市立灘区民ホール2F

開館日及び時間 火、水、木、金、土 午前9時～午後6時

1. 意思疎通支援事業

(1) 手話通訳者養成研修事業

ア. 手話通訳者養成事業

聴覚障害者の福祉に理解と熱意を持ち、兵庫県認定手話通訳者を目指す人を対象に養成講座を実施しました。

・通訳Ⅰ

日時：4月16日（金）～1月14日（金）全36回

開催地：三木市

受講者：12名（うち修了者10名）

・通訳Ⅱ

日時：6月22日（火）～12月21日（火）全34回

開催地：川西市

受講者：11名（うち修了者9名）

・通訳Ⅲ

日時：4月13日（火）～10月5日（火）全11回

開催地：たつの市

受講者：20名（うち修了者18名）

・強化事業

通訳Ⅰ

日時：4月12日（月）～2月28日（月）全36回

開催地：宍粟市

受講者：5名（うち修了者3名）

通訳Ⅱ

日時：4月10日（土）～8月7日（土）全34回

開催地：豊岡市

受講者：8名（うち修了者7名）

イ. 手話通訳者全国統一試験事業

・開催日：令和3（2021）年12月4日（土）

合格発表：令和4（2022）年3月10日（水）

会場：神戸市勤労会館

受験者：90名
合格者：16名

(2) 要約筆記者養成研修事業

ア. 要約筆記者養成事業

- 要約筆記者養成講座 パソコンコース
日 時：5月15日～12月18日（土） 全30回（90時間）
会 場：淡路市
受講者：6名（うち修了者6名）
- 強化事業 要約筆記者養成講座パソコンコース
日 時：6月22日～令和4年1月18日（火）全44回（90時間）
会 場：猪名川町
受講者：13名（うち修了者10名）
- 要約筆記フォローアップ講座（手書きコース・パソコンコース）
日 時：（手書き）令和4年1月8日、29日（土）（PC）1月15日、2月5日（土）
会 場：兵庫県立聴覚障害者情報センター
受講者：（手書き）17名（PC）36名

- 要約筆記者指導者養成研修（聴力障害者情報文化センター主催分）
難聴者コース ①7月17～19日 ②9月17～19日 オンライン 受講者：1名
ステップアップコース（手書き）10月31日～11月1日 オンライン 受講者：1名
基礎研修コース ①7月2～3日 ②8月28～29日 ③10月8～9日 ④11月20～21日
①～③オンライン・④ビジョンセンター田町 受講者：（PC）2名

イ. 全国統一試験要約筆記者認定試験

日 時：令和4年2月20日（日）
会 場：兵庫県立のじぎく会館
受験者：61名（手書きのみ20名、PCのみ36名、両方5名）

(3) 手話通訳者派遣事業

ア. 登録状況

登録状況(手話通訳) 令和4年3月31日現在
302名（認定登録57名、B登録72名、C登録173名）

イ. 研修会

初任者研修

- 日 時：3月26日（土）13:00～15:00
会 場：兵庫県立聴覚障害者情報センター
内 容：令和3年度手話通訳者全国統一試験合格者16名が対象。
情報センターの概要、ひょうご通訳センターの運営
派遣事業の概要、報告書の書き方等

受講者：16名

手話通訳者研修会

技術研修(要約筆記登録者研修と合同開催)

- ・日時：5月21日(金)
- ・会場：Zoom 併用し情報センターと登録者をつないで研修。
- ・内容：オンライン活用による行事での情報保障

知識研修

- ・医療研修集合 10～12 3回(1/15, 2/5, 2/26)
- 会場：兵庫県立聴覚障害者情報センター
- 内容：「遠隔通訳」現地とZoomの併用
- 受講者：延べ266名

技術研修

- ・6月3日(木) 13:30～16:00
- 会場：兵庫県立聴覚障害者情報センター
- 内容：「読み取り通訳のトレーニング」
- 受講者：46名
- ・日時：8月14・28日(土)午前・午後
- 会場：兵庫県立聴覚障害者情報センター
- 内容：聞き取り通訳(小グループに分かれて)
- 受講者：延べ90名

基本研修

- ・日時：4月17日、5月8日(土2回)、翌3月31日(木)
- 会場：兵庫県立聴覚障害者情報センター
- 内容：事業種別、依頼から通訳料の受け取りまで、守秘義務
- 受講者：延べ95名

ウ. 兵庫県公費派遣

年間：50件

総派遣人数：107名

エ. 市町村公費広域派遣

年間：639件

総派遣人数：838名

オ. 兵庫県主催イベントにおける聴覚障害者への情報配慮事業にかかる派遣調整

年間：70件

総派遣人数：166名

(4) 要約筆記者派遣事業

ア. 登録状況

127名(令和4年3月31日現在)

イ. 現任研修会

基本研修

- ・日 時：4月10日（土）
会 場：兵庫県立聴覚障害者情報センター
内 容：派遣事業のオリエンテーション、機材設営実習
受講者：26名
- ・日 時：4月21日（水）
会 場：兵庫県立聴覚障害者情報センター
内 容：派遣事業のオリエンテーション、機材設営実習
受講者：8名

知識研修

- ・日 時：5月21日（金）
会 場：兵庫県立聴覚障害者情報センター・Zoom
内 容：手話通訳者・要約筆記者合同研修会「オンライン活用による行事での情報保障」
受講者：33名
- ・日 時：令和4年3月10日（木）
会 場：兵庫県立聴覚障害者情報センター・Zoom
内 容：「障害 Before/After（ビフォー/アフター）～障害のある女性として生きる～」
講師：藤原久美子氏
受講者：47名

技術研修

- ・日 時：11月25日（木）
会 場：兵庫県立聴覚障害者情報センター
内 容：パソコン要約筆記の実技研修「メインとサブの役割」
受講者：18名
- ・日 時：6月12日（土）・6月24日（木）・7月10日（土）・7月28日（水）・8月21日（土）
会 場：兵庫県立聴覚障害者情報センター・Zoom
内 容：少人数制オンライン研修（テーマ：模擬現場実習「難聴者の体験談と座談会」の情報保障）
受講者：1回につき6～5名 のべ29名
- ・日 時：10月21日（金）・11月16日（水）
会 場：兵庫県立聴覚障害者情報センター・Zoom
内 容：利用者向け勉強会「オンライン会議で要約筆記をスムーズに活用しよう」での現場実習
受講者：15名・13名

ウ. 兵庫県公費派遣

年間：60件
総派遣人数：202名

エ. 市町村公費広域派遣

年間：158件

総派遣人数：285名

オ. 兵庫県主催イベントにおける聴覚障害者への情報配慮事業にかかる派遣調整

年間：24件

総派遣人数：80名

(5) けいわん健診

令和3年度は4会場5回実施。

川西市、丹波市、高砂市、情報センター内2回、

(6) 各担当者会議、研修会

ア. コーディネーター研修会（手話通訳、要約筆記合同）

県下各市町のコミュニケーション支援事業担当者及び手話通訳・要約筆記派遣コーディネーターを対象に案内し、手話通訳・要約筆記派遣コーディネーターの資質の向上を目的に開催しました。

日 時：10月13日（水）13:30～16:00

場 所：兵庫県立聴覚障害者情報センター・Zoom

内 容：情報交換（通訳者養成、遠隔手話通訳サービス、認定試験、手話言語条例等）

受講者：50名（1県・29市町・5事業所）

イ. 意思疎通支援業務担当者会議（手話通訳、要約筆記合同）

県下各市町のコミュニケーション支援事業担当者と設置手話通訳者を対象に案内し、各市町への情報提供や提案および情報交換をすることにより各市町における同事業の充実と均一化を図ることを目的に次のとおり開催しました。

日 時：8月18日（水）13:30～16:30

場 所：兵庫県立聴覚障害者情報センター・Zoom

内 容：ひょうご通訳センター要綱改正・県外広域依頼・遠隔手話通訳システム・電話リレーサービス・差別解消法関連・その他意見交換

受講者：62名（1県・35市町・3事業所）

ウ. 要約筆記コーディネーター情報交換会

第1回

日 時：11月11日（木）13:30～16:30

場 所：兵庫県立聴覚障害者情報センター・Zoom

内 容：養成講座の共催について、遠隔要約筆記、登録者研修、養成講座修了者への対応等

受講者：21名（13市町・5事業所）

第2回

日 時：3月17日（木）13:30～16:30

場 所：兵庫県立聴覚障害者情報センター・Zoom

内 容：養成講座の共催について、遠隔要約筆記、登録者研修、養成講座修了者への対応等

受講者：24名（13市町・4事業所）

2. 相談支援事業

(1) ろうあ者・難聴者相談・移動相談

ア. 年間相談件数：38件（移動相談も含む）

イ. 相談内容

- ・情報格差が招くトラブル、夫婦間トラブル、介護問題、独居高齢者の問題など
- ・制度内容の説明・手続きの支援 など

ウ. 移動相談実施時に支援者対象企画の開催

- ・移動相談、「聴覚障害」の理解セミナー（新温泉町）

日 程：10月29日（金）13:30～16:00

会 場：（新温泉町）浜坂多目的集会施設

受講者：3名

- ・移動相談、「聴覚障害」の理解セミナー（養父市）

日 程：11月19日（金）13:30～16:00

会 場：（養父市）やぶ市民交流広場（YBファイブ）図書館棟

受講者：10名

- ・移動相談、「聴覚障害」の理解セミナー（稲美町）

日 程：12月3日（金）13:30～16:00

会 場：（稲美町）いきがい創造センター

受講者：7名

(2) 聞こえの相談

ア. 年間相談件数：150件

イ. 相談内容

- ・きこえ、補聴器相談
（聴力検査、疾患、補聴器適応・申請、FM補聴器、人工内耳、APDなど）
- ・福祉機器の相談（高齢に伴う聴覚補償、会社内における聴覚補償 など）
- ・コミュニケーション（職場内、親子間、 など）
- ・生活相談（軽中度難聴者の求職、福祉制度、日中活動 など）
- ・子どもの難聴について（難聴発覚後の療育、発音指導、学習支援、進路、補聴器、情報補償など）
- ・関係機関からの相談（難聴児者のケース相談、難聴者対象の事業実施について）
- ・弱視難聴者からの生活相談、人工内耳の相談など

(3) こころの相談

ア. 年間相談件数：83件

イ. 相談内容

- ・発達障害（疑いも含める）、自分の親、子どもとの関係（コミュニケーションなど）
- ・悩みや不安の解消

- 職場における人間関係（周囲の理解やコミュニケーションなど）
- たじま聴覚障害者センターでの、放課後等デイサービスにおけるスーパーバイザー（助言者）
利用されている子どものアセスメントや職員への助言
- 就労支援事業所職員（姫路）から利用者に関する相談

3. 中途失聴者難聴者コミュニケーション訓練事業

(1) 地域会場

- 日 時：4月17日、24日、5月8日※（土）全3回 13:30～15:30 ※中止
内 容：読話
講 師：ST 岡恵子氏
会 場：兵庫県立聴覚障害者情報センター
受講者：6名
- 日 時：6月12日、26日、7月10日（土）13:30～15:30
内 容：手話
講 師：庄司美絵氏
会 場：西宮市中央公民館
受講者：9名
- 日 時：9月25日（土）13:30～15:30
内 容：読話
講 師：ST 岡恵子氏
会 場：たつの市役所内
受講者：9名
- 日 時：11月13日（土）13:30～15:30
内 容：読話
講 師：ST 岡恵子氏
会 場：西脇市総合福祉センター萩ヶ瀬会館
受講者：3名
- 日 時：2月13日（日）10:00～12:00
内 容：読話
講 師：ST 上田月美氏
会 場：南あわじ市福良公民館
受講者：3名
- 日 時：2月20日（日）10:00～12:00
内 容：読話
講 師：ST 上田月美氏
会 場：洲本市やまて会館（総合福祉会館）
受講者：6名

(2) 難聴者のための手話教室

会場：兵庫県立聴覚障害者情報センター

- 手話入門
日 時：5月15日※、22日※、6月5日、12日（土）全2回 13:30～15:30
講 師：石井加代子氏
受講者：6名（※感染症対策のため中止）
- 初級水曜コース
日 時：6月23日、30日、7月14日、28日、8月11日 13:30～15:30
会 場：情報センター サロン
講 師：庄司美絵氏
受講者：6名
- 初級土曜コース
日 時：6月19日、26日、7月3日、10日、17日 13:30～15:30
会 場：情報センター サロン
講 師：加藤めぐみ氏
受講者：7名
- 中級水曜コース
日 時：9月29日、10月13日、27日、11月24日、12月8日 13:30～15:30
会 場：情報センター サロン
講 師：阪倉智永子氏
受講者：8名
- 中級土曜コース
日 時：10月16日、30日、11月13日、27日、12月11日 13:30～15:30
会 場：情報センター サロン
講 師：太田稔氏、唐須香氏
受講者：5名
- 上級コース
日 時：1月15日、22日※、29日、2月5日※、12日※、19日※、（土曜日）
3日間分を延期で実施 計5日間 13:30～15:30
会 場：情報センター サロン
講 師：仲光恵氏
受講者：11名

4. ろうあ者社会生活教室

- 日 時：10月23日（土）13:30～15:30
内 容：ひょうご労働・福祉2021「聴覚障害者雇用の取り巻く問題について」
講 師：藤永 紀代美氏（兵庫労働局 職業安定部職業対策課 地方障害者雇用担当官）
参加者：24名
- 日 時：11月23日（土）13:30～16:00
会 場：あすてっぴ KOBE
内 容：手話フォーラム「新しい手話について」
講 師：村松裕子氏（日本手話研究所標準手話確定普及研究部関東班）

参加者：45名

・日時：2月5日(土)

内容：女性セミナー「コロナをぶっ飛ばそう！～オンラインでワークショップを楽しむ～」

講師：河井 依子（岐阜ろう劇団いびき代表）

参加者：24名

・日時：2月6日(日) 10:00～12:00

内容：青年部&スポーツ部「青年部会員&スポーツ部員引退後のろうあ運動移入について」

講師：徳岡 英一氏

参加者：24名

・日時：2月19日(土) 13:30～16:30

内容：第25回ろう教育学習会「耳が聴こえない僕が研究の世界に飛び込んだ理由」

講師：福井 雅弘氏（京都大学ウイルス再生医科学研究所研究員）

オンライン学習会（ZOOM）

参加者：43名

※新型コロナウイルス感染症対策のため、「こうれいしゃ講演会」は中止。

5. 難聴者教室事業

(1) たじま地域難聴者教室「聞こえを学ぶ集い」

日時：10月30日(土) 14:00～15:30

会場：豊岡市民プラザ 市民活動室C・D

内容：「UDトークを見てみよう」「ゲーム」「座談会」

参加者：6名

(2) 手話歌を楽しもう

日時：年間5回水曜 13:30～15:30

感染症対策のため、2回中止

会場：情報センター サロン

内容：講師は難聴者。さまざまな情報提供や取り組みも前半に加えて実施。

要約筆記配置。

参加者：延べ20名

(3) 読話サークル「ひまわり」

日時：年間5回水曜 13:30～15:30

感染症対策のため、2回中止

会場：情報センター サロン室

内容：講師は言語聴覚士。読話手話入門講座修了者有志が中心の集まり。要約筆記配置。

参加者：延べ20名

(4) 手芸サークル

日時：毎月第4水曜 13:30～15:30)

感染症対策のため、6回中止

会場：情報センター サロン室

講師：中途失聴の為に講師業を辞めていた方。再び指導できる場を提供。要約筆記配置。

製作品：パッチワーク、手芸小物品など

参加者：4名

6. 聴覚障害者及び聴覚障害に関する理解促進事業

(1) 中途失聴難聴事業推進委員会の実施

難聴・要約筆記の4団体（(特非)兵庫県難聴者福祉協会・神戸市難聴者協会・兵庫県要約筆記サークル連絡協議会・要約筆記サークルこうべ）と、情報センターとで兵庫県内全域の難聴者福祉を考
えることが目的。今年度は、要約筆記検討会と合同で開催。

日程：7/24、10/2

内容：情報交換、課題共有

ア. 家庭部会

日程：5/26、8/27、10/8、11/8、3/9

企画：実態調査「県内聴覚特別支援学級の情報支援について」、web アンケート

概要：74校配布、44校から回答（回収率59%）

イ. 社会生活部会

日程：5/11、6/29、8/6、3/18

内容：県受託事業「障害者自助力（防災意識）強化推進事業」防災バンダナ製作への協力 他

ウ. 労働部会

日程：5/8、6/26、7/24、8/28、9/1、3、10/13、23、11/27、12/15、
1/22、2/26、3/12

企画：第3回 労働懇談会

内容：講演「兵庫障害者職業センターの役割と支援サービスについて」、対談
zoomで実施し、会場参加とyoutubeliveで限定公開した。

日時：3月13日（土）13:00~16:00

場所：情報センター 会議室

(2) 聴覚障害者文化祭

感染症対策のため、中止

(3) 聞こえの懇談会

ア. たつの市

日時：8月28日（土）13:00~16:00

会場：たつの市福祉会館

内容：難聴者の体験談・補聴器や聞こえについての相談会

講師：中川良雄氏（NPO法人まちづくり福祉推進ネット）

参加者：35名

イ. 西脇市

日 時：10月16日（土）13：00～16：00

会 場：西脇市総合福祉センター萩ヶ瀬会館

内 容：難聴者の体験談・補聴器や聞こえについての相談会

講 師：中川良雄氏（NPO法人まちづくり福祉推進ネット）

参加者：19名

(4) ふれあいサロン

感染症対策のため中止

(5) 聴覚障害児とママ&パパ交流会

日 時：11月5日（土）12：45～15：30

会 場：オンライン+兵庫県立聴覚障害者情報センター研修室

内 容：教育現場における情報保障の取り組み

講 師：上林玲子氏、荻野幸子氏

申込者：54名

7. 聴覚障害者災害対応訓練事業

感染症対策のため中止

8. 聴覚障害者緊急時情報通信事業

「ひょうご防災ネット」を活用して登録者の携帯電話やパソコンに「緊急情報」「おしらせメール」「緊急気象情報」を発信するもので県内市町でも活用されている。当センターにおいても「緊急メール」や「お知らせメール」を用いた必要な情報を発信しました。

（登録件数 お知らせ情報：10, 181件 緊急情報：13, 736件）

9. 情報機器の利用・貸出し事業

聴覚障害者への情報保障に必要な、ヒアリングループ（磁気誘導ループ）、OHC、モバイルスクリーン、ビデオプロジェクター、要約筆記表示用パソコン等の情報機器の貸出を行った。

10. 字幕入りビデオライブラリー運営事業

字幕入り映像作品及び自主制作ビデオの貸し出しを行った。

任期満了作品の処分と新規作品の追加作業を実施しました。（年間貸出し本数：23本）

11. IT機器活用研修事業

(1) パソコン相談

聴覚障害者向けにパソコン相談を開催した。

ア. パソコン相談 （平日）

日 時：随時

場 所：情報センター情報機器利用室

対応者：職員
件数：14件

イ. パソコン相談（土曜）

日時：毎月1回、第3土曜日を基本に調整（※コロナで変更。緊急
対応あり）8/21(緊急事態宣言で中止)、9/18、10/16、
11/20、12/18、1/15、(2/19、3/19)
場所：情報センター情報機器利用室
対応者：PC相談員
件数：21件

ウ. 但馬地域パソコン相談

日時：隔月1回 第2土曜日、第4土曜日のいずれか（13：00～17：00予
約制）9/11、10/9、11/13、12/18、1/29、2/12
場所：たじま聴覚障害者センター
場所：たじま聴覚障害者センタ
対応者：聴覚障害者相談員
件数：10件

エ. パソコン・スマートフォン相談会・IT相談会（予約制・個別対応）

日時	内容	参加者数	場所
1/22（土） 13：00～16：40	オンライン・スマホ相談会 神戸会場 ソフトバンク	4名	情報センターIT室
1/22（土） 13：00～16：40	オンライン・スマホ相談会 姫路会場 ソフトバンク	3名	姫路国際交流センター セミナーB
1/22（土） 13：00～16：40	オンライン・スマホ相談会 淡路会場	4名	洲本市健康福祉館3階 会議室
1/22（土） 13：00～16：40	パソコン相談会（対面式）	5名	情報センター会議室

(2) IT学校及びパソコン講習会

聴覚障害者 及びITスタッフ情報保障者向けにIT学校及びPC講習会を実施した。

日時	内容	参加者数	場所
7/10、17(土) 14：00～16：00	聴覚障害者向けパソコン講座 『初めてのZoom講座』	13名 9名	情報センター 会議室
7/17（土） 13：15～16：15	聴覚障害者向けパソコン講座 『初めてのZoom講座』（姫路会場）	10名	サンソフト姫路校
7/24（土） 13：30～15：00	IT学校 第47講 「電話リレーサービスって何？」	13名	情報センター 会議室

8/7, 21, 28(土) 13:30~15:30	なるほど！パソコン教室	中止	情報センター IT室
8/21(土) 10:15~12:00	IT学校 第48講 「スマホ・タブレット活用講座」	中止	情報センター 会議室
9/4, 11, 25(土) 13:30~15:30	聴覚障害者向けPC講座講座 25日のみ開催 Excel(エクセル2019)活用講座	5名	情報センター 会議室
10/2(土) 13:30~15:30	IT学校 第49講 「IT用語を勉強しよう！」	10名	情報センター 会議室
11/6, 13, 20 12/4, 11, 18(土) 13:30~15:30	初心者向けPC教室 なるほど！パソコン教室	5名	情報センター IT室
11/20, 27(土) 13:30~15:30	聴覚障害者向けパソコン・初心者講座 『Word(ワード)入門講座』	5名	サンソフト姫路校
12/18(土) 13:30~16:30	IT学校 第50講 Googleを便利に活用しよう	20名	情報センター 会議室
1/22(土) 10:30~16:00	IT学校 第51講 スマホ・タブレット活用講座 ～もっと便利に使ってみよう～ (東京、淡路、姫路、神戸、遠隔同時開催)	20名	情報センター 姫路市国際交流センター 洲本市健康福祉館
2/5, 19, 2/26(土) 13:30~16:30	聴覚障害者向けIT講座 「Zoom基礎編」(姫路会場)	5名	サンソフト姫路校 コロナで中止

今年度より、初めて聞こえる人を対象とした講座を開講した。

6/17, 6/24(木) 10:00~17:00	情報保障者及びITスタッフ事前学習会 テーマ: Zoom ホスト編	15名	情報センター 会議室
10/19, 26, 11/2(火) 13:30~16:30	「ITサポーター養成講座」	10名	情報センター 会議室
12/7(火) 13:30~16:30	ITサポーター養成講座 フォローアップ	7名	情報センター 会議室
2/8(火) 13:30~16:30	ITサポーター養成講座 フォローアップ	7名	情報センター 会議室

(3) ICT指導者養成講座

障害者特性を理解しIT機器等の活用方法を指導できる人材の養成を目的に、指導者養成講座を実施した。

日時	内容	参加者数	場所
10/16、23、30、 11/6、13、20、27 (土) 13:30~16:30	ICT指導者養成講座 「Zoomホスト編」	11名	神戸市産業振興センター パソコン研修室
12/4、12/11(土) 13:30~16:30	ICT指導者養成講座 フォローアップ「Zoom」	7名	神戸市産業振興センター パソコン研修室

12. 聴覚障害者向けビデオ自主制作事業

(1) 聴覚障害者向けビデオの自主制作

聴覚障害者向けに手話や字幕を挿入したビデオを自主制作し、ビデオライブラリーでの貸出しや関係機関、団体への配布等を行った。

No.	ビデオタイトル	時間	本数
1	兵庫県手話講座 指導教材DVD 「佐藤さんちのあるある!!」	13分	10
2	神戸市ろうあ者市民講座① 「私と戦争」 山村賢二氏	97分	5
3	神戸市ろうあ者市民講座② 「尼崎精工とろうあ産業兵士」 大矢暹氏	97分	5
4	リラクゼーションのおすすめ 肩甲骨 STOP ザ けいわん (合同制作:公益社団法人兵庫県聴覚障害者協会 兵庫県手話健康対策委員会)	34分	5
5	行政職員向け手話研修動画 第2話 『手話や筆談を使って来庁者対応をしましょう』	10分	5
6	第48回兵庫県ろうあ者新年大会兼成人祝いのつどい (明石市 式典・記念講演「やさしい社会に向かって」泉房穂氏)	130分	5
7	『大災害を乗り越えるために』 講師:神戸地方気象台 気象情報官 有吉 正幸氏	128分	5

(2) 関係団体及び行政機関等との合同制作及び制作協力

No.	タイトル	時間
1	新型コロナワクチン接種に関する要望について	7分
2	令和3年度評議員会報告 世界ろう連盟アジア地域事務局 嶋本氏	2分
3	令和3年度評議員会報告 京都事務局 小林氏	2分
4	2021年度兵聴協手話通訳者認定試験 DVD制作	6分
5	1億円達成特別イベント みんな集まろう!字幕版	120分
6	乳幼児向け手話学習「ひよこ」手話単語アプリ(撮影協力)	

(3) CS 障害者放送「目で聴くテレビ」等への番組提供・協力

兵庫からの情報番組として、CS放送「目で聴くテレビ」へ映像提供、取材協力を行った。

No.	タイトル	時間
提供①	旧優生保護法被害国賠訴訟 2021. 8. 3	5分

(4) 聴覚障害者向けビデオ映像のインターネット動画配信

従来のビデオライブラリー貸出しに加え、映像用のホームページ及びブログを活用し、インターネット上で動画配信を行った。(全14本 神戸市動画事業映像3本含む)

No.	タイトル	時間
提供①	新型コロナウイルス ^⑱ 「まん延防止徹底要請について」	6分
提供②	新型コロナウイルス ^⑲ 「兵庫県新型コロナワクチン専門相談窓口での遠隔手話通訳サービスの利用について」	5分
提供③	新型コロナウイルス ^⑳ 「3回目の緊急事態宣言発令 県民へのお願いについて」	9分
提供④	新型コロナウイルス ^㉑ 「コロナと災害①～ひょうご防災ネットアプリに登録を！～」	4分
提供⑤	新型コロナウイルス ^㉒ 「コロナと災害②～避難情報 警戒レベルの変更について」	5分
提供⑥	新型コロナウイルス ^㉓ 「コロナと災害③～コロナ禍での避難について」	5分
提供⑦	新型コロナウイルス ^㉔ 「4回目の緊急事態宣言について」	5分
提供⑧	新型コロナウイルス ^㉕ 「気を緩めないでください！」	6分
提供⑨	新型コロナウイルス ^㉖ 「まん延防止等重点措置期間について」	4分
提供⑩	新型コロナウイルス ^㉗ 「PCR検査・抗原定性検査の無料実施について」	6分
提供⑪	行政職員向け手話研修動画 第2話 『手話や筆談を使って来庁者対応をしましょう』	10分

13. その他

(1) 神戸市手話動画制作事業（神戸市からの受託事業）

神戸市より手話動画制作依頼を受けて手話動画を制作し、神戸市ホームページ等で配信した。

●制作物および配信場所

制作物：手話動画（DVD）

配信場所：神戸市ホームページ、兵庫県立聴覚障害者情報センターホームページ、Youtube（兵庫県立聴覚障害者情報センターのサイト）

内容：平成27年度から引き続き、兵庫県立聴覚障害者情報センター、神戸ろうあ協会等で協議を重ね今年度で7年を経過した。

今年度は、幅広い年齢層で手話に親しんでもらいたいという想いも込め、放課後等デイサービスなどに通う子どもたちやその両親等にもご協力いただき制作を進めた。

視聴者からは、子どもたちが自然に手話で会話する様子を見て、「自分の子にも手話を学ばせたい」、「なんとも微笑ましい映像。優しいまちづくりに手話は必要」など、様々な方からお声をいただく映像となった。

映像の後半には、聞こえない人から日常の課題を話していただくコーナーを設け、聴覚障害者の生活についても多くの市民に知っていただける手話動画となった。

回数	手話動画の内容	配信
1回	【日常生活編】 第1話 家に友達が遊びに来た ☆単語:「遊ぶ」「ゲーム」「クッキー」「作る」「おいで(呼ぶ)」 ☆聞こえない人から学ぼう 「聞こえない人を呼ぶとき」	R3年9月
2回	【日常生活編】 第2話 友達と公園で遊んでいるとき ☆単語:「公園」「落とし物」「驚く」「昨日(今日・明日)」 「あげる(もらう)」 ☆聞こえない人から学ぼう「手話は聞こえない人の言語」	R3年12月
3回	【日常生活編】 第3話 自動販売機はどこ？ ☆単語:「のどが渇く」「ジュース」「自動販売機」「飲む」「迷う」 ☆聞こえない人から学ぼう 「身振りや指さしについて」	R4年3月

収一 1 出版物等普及事業

1. 出版事業

令和3年度は、令和2年度から引き続き新型コロナウイルス感染症拡大の影響が書籍の売上の減少にも響きました。行事の中止や縮小があり、売り上げは減少傾向となりましたが、手話奉仕員養成講座、手話通訳者養成講座を開催した地域もあり令和2年度に比べ、奉仕員テキストは約100冊、通訳Ⅰのテキストは約10冊の売上増となりました。

兵聴協のホームページから書籍の注文が可能となったので、今後も引き続き兵聴協独自出版物の普及に力を入れ、書籍の販売を伸ばしたいと思います。

令和3年度書籍売上（冊数）ベスト20（協会への預売・売掛も含む）

令和4年3月31日時点

順位	品名	売上数	売上額
1	奉仕員テキスト	441	1,455,300
2	MIMI171	156	148,200
3	通訳者講義テキスト改訂版（新刊）	151	298,980
//	MIMI173	151	143,450
5	MIMI174	150	142,500
6	MIMI172	149	141,550
//	MIMI175	149	141,550
8	新 たっちゃんと学ぼう	102	22,440
9	通訳Ⅰ 養成テキスト	66	203,280
10	手話テキスト 聴さんと学ぼう！	58	57,420
11	わたしたちの手話学習辞典Ⅰ	42	120,120
12	新しい手話2021	34	33,660
13	通訳Ⅲ 養成テキスト	32	98,560
14	ろう者たち～権利を求めて	24	26,400
15	通訳Ⅱ 養成テキスト	22	67,760
16	奉仕員養成 指導書	20	55,000
17	わたしたちの手話学習辞典Ⅱ	16	45,760
18	国際手話ハンドブック第2巻	14	21,000
19	一人ひとりが輝ける未来へ	12	6,600
20	手話・言語コミュニケーションNo.9	11	22,000

2. 事業部

聴覚障害者用福祉用具や関連商品の販売・普及、また聴覚障害者および関係者向けのイベント等を企画・実施しました。

(1) 販売事業

要約筆記用OHPロール、補聴器電池、かきぼん

日聴紙バインダー

応援グッズ（モンベルポーチ、マスキングテープ、ステッカー、ピンバッジ等）

非常食

(2) 全日本ろうあ連盟創立 70 周年記念映画「咲む」関連グッズ

クリアファイル、付箋、Tシャツ、プログラム、ミルクィー

(3) 講演会・講座 等

コロナ感染拡大により実施できず

1. ひょうご聴覚障害者介護支援センター

(1) 統括

ア. ヘルパーの質の向上を目指した学習会の開催

- ・月1回のヘルパー会議時に行った研修会において知識を深めます。(コロナ感染拡大防止による緊急事態宣言発令により、令和3年5月は中止)

ヘルパー会議や研修で行ったテーマ

- ・感染症、・高齢者虐待防止法について
- ・感染症(ガウンテクニック)について ・個人情報保護法について ・認知症について
- ・最適な老人ホームの選び方 ・ハラスメント ・法令遵守について
- ・肩甲骨はがし ・接遇マナーについて

当センターのケアマネジャー(以下 CM)も参加し、共にスキルアップ向上とサービス提供責任者、担当ヘルパーとの情報共有に努めた。利用者(個人情報保護に基づき、個人情報が特定されないように配慮)に対する悩みや支援内容の相談・分析を行いました。

居宅介護支援事業所として必要な研修(高齢者虐待防止法等)に加えて、オンライン研修や実技研修にも参加しました。

イ. 事業内容の検討

- ・兵庫県聴覚障害者協会のホームページ内のムービーを新しく作成し、よりわかりやすいホームページになるように検討します。

(2) 事業内容

地域生活支援事業の移動支援のニーズが高く、現在、神戸市・三木市・明石市・尼崎市のみですが、今後も依頼があれば派遣範囲を広げていく予定です。

ア. 介護保険法

- ・居宅介護支援事業(CMによるケアプラン作成・認定調査)
- ・訪問介護事業・介護予防訪問サービス(ホームヘルパーの派遣)

イ. 障害者総合支援法

- ・居宅介護事業
- ・同行援護事業(実施できない 資格を持ったヘルパーが居ない)
- ・行動援護事業(実施できない 資格を持ったヘルパーが居ない)
- ・移動支援(地域生活支援事業) 対象市…神戸市、三木市、尼崎市

(3) 運営会議

1ヶ月に1回担当理事・サービス提供責任者・CM及び職員との間で報告・連絡・相談をすることにより情報を共有していくとともに、課題について話し合いました。

(4) 居宅介護支援事業とホームヘルパー派遣(令和3年3月末現在)

居宅介護支援事業所は41名(介護予防含む)の居宅サービス計画書(ケアプラン)作成・相談(要介護認定申請・他サービス事業所の紹介等)や問い合わせに対応しながらそれぞれの在宅支援に貢献しました。

各利用者それぞれの地域の制度の活用やネットワークづくり、地域防災活動などへの積極的な参加などを行いました。

訪問介護事業・介護予防訪問サービス、障害者総合支援法の居宅介護事業、地域生活支援事業の移動

支援事業として県全域を対象にホームヘルパーを派遣しました。

今後も利用者の増加に努めます。またろうあ行事がある場合には、参加を促し仲間たちとの交流を増やしていくよう支援していきます。要支援や介護度が軽度（要介護1，2）方の割合が多いです。

ア. 利用地域（令和4年3月末現在）

神戸市、尼崎市、西宮市、明石市、三田市、豊岡市、三木市、多可町

イ. ヘルパー派遣時間

令和元年度	介護保険・・・4237時間26分
	障害福祉支援・・・586時間20分
	地域生活支援事業・・・337時間40分
令和2年度	介護保険・・・4770時間42分
	障害福祉支援・・・501時間
	地域生活支援事業・・・190時間35分

ウ. 介護保険利用者数（令和4年3月末現在）※訪問介護事業

要支援1	： 3名（令和2年度 3名）
要支援2	： 3名（令和2年度 3名）
要介護1	： 11名（令和2年度 12名）
要介護2	： 4名（令和2年度 3名）
要介護3	： 1名（令和2年度 1名）
要介護4	： 3名（令和2年度 3名）
要介護5	： 1名（令和2年度 0名）
合計	26名（令和2年度 25名）

介護保険利用者数（令和4年3月末現在）※居宅介護事業

要支援1	： 7名（令和元年度 1名）
要支援2	： 3名（令和元年度 4名）
要介護1	： 12名（令和元年度 11名）
要介護2	： 9名（令和元年度 10名）
要介護3	： 5名（令和元年度 0名）
要介護4	： 3名（令和元年度 2名）
要介護5	： 0名（令和元年度 0名）
合計	39名（令和元年度 28名）

エ. 障害サービス利用者数（令和4年3月末現在）※家事援助及び通院等介助

区分1	： 1名（令和元年度 1名）
区分2	： 2名（令和元年度 3名）
区分3	： 3名（令和元年度 2名）
区分4	： 0名（令和元年度 0名）
区分5	： 0名（令和元年度 0名）

区分6： 0名（令和元年度 0名）

合 計 6名（令和元年度 6名）

移動支援サービス利用者（令和4年3月末現在）

※介護保険サービス及び障害サービスとの重複利用者も含む

神戸市：2名（令和2年度 2名）

三木市：1名（令和2年度 1名）

尼崎市：1名（令和2年度 0名）

オ. ブロック別利用者数（令和4年3月末現在）

• 介護保険

阪神5名、神戸15名、東播3名、西播0名、北播1名、丹有1名、但馬1名 合計26名

• 障害サービス（家事援助・通院介助）

阪神2名、神戸3名、東播0名、西播0名、北播1名、丹有0名、但馬0名 合計6名

• 移動支援サービス

上記記載

他一 1 会員・関係団体相互扶助事業

1. 青年部

(1) 総括

1. 3本柱の基本を作っていこう！

(仲間づくり)

令和3年度は社会情勢に合わせた形で三人行事を開催することができました。

引き続き「兵青サロン」を実施し、青年部員同士の交流の場を作りました。

また、兵庫県ろうあ者新年大会 in 明石に参加して将来の青年部員でもある新成人を祝いました。

(学習づくり)

役員として兵聴協幹部研修会や第12回西日本エリア幹部研修会に参加し、知識を深めました。

(要求づくり)

ふくろうカレンダーの購入を通してひょうご聴障ネットの運営に協力していきました。

2. ろうのこども達と関わろう！

ろうこどもふれあい企画を実施し、きこえないこどもたちと触れ合うことができました。

また、同企画にて保護者の方との意見交換を設け、情報交換を行いました。

3. 発信力を高めていこう！

Facebook を適宜更新し、青年部の発信や各種行事のお知らせをしました。

4. 外部団体と繋がろう！

N-Action ひょうご共催で、(公社)兵庫県聴覚障害者協会組織部長の岩本吉正氏を講師に招いて学習会を開きました。「電話リレーサービスを学ぼう」というテーマで、令和3年7月より実施された電話リレーサービスについて、お互いに学び合うことができました。

5. 兵聴協青年部創立50周年記念を祝う準備を進めよう！

近畿ろうあ連盟青年部創立50周年記念誌の史料収集と合わせて、過去の資料、写真をデータ化しました。

(2) 事業経過報告

日程	内容	開催地	参加者数
令和3年			
4月17日	第10回(公社)兵庫県聴覚障害者協会青年部 総会	神戸	10名
7月17日	ろう子どもふれあい企画	神戸	23名
7月23日	第32回兵庫県ろうあヤングレクリエーション	赤穂	27名
9月12日	第40回兵庫県ろうあ青年研究討論会	三木/オンライン	21名
10月23日	オンライン企画①HYOSEI SALON	オンライン	15名
11月23日	青年のすゝめ(N-Action ひょうご交流企画)	神戸/オンライン	34名
12月10日	オンライン企画②オンライン忘年会	オンライン	9名

令和4年

2月 6日	青年講座（社会生活教室 ※スポーツ部と共催）	明石/オンライン(Zoom)	27名
2月 18日	オンライン企画③オンライン飲み会	オンライン	11名

2. 女性部

(1) 総括

令和3年度も新型コロナウイルス感染症により、県、近畿、全国それぞれ行事の実施ができないことが多い中、コロナ禍に負けないという方針で、できる時に実施しました。

ア. 第10回定期総会

4月18日、コロナ感染防止の対策をした上で1年ぶりに開催しました。女性部会委員47名のうち委任を含めて43名。令和2年度事業報告・決算報告および令和3年度事業計画・予算案が可決されました。

イ. 社会見学

5月8日(土)バスを利用した徳島の鳴門観潮・美術館巡りは緊急事態宣言のため、6月12日(土)に延期しましたが、宣言延長により中止。翌年1月30日に現地集合の方法に変えて竹中大工道具館見学を企画するもコロナ禍蔓延防止期間に入っしまい、中止しました。

ウ. 第51回近畿ろうあ女性フォーラム・大学習会

7月11日(日)に第51回近畿ろうあ女性フォーラム開催予定でしたが、コロナ禍で中止。これを受けて、前日7月10日(土)近畿ろうあ連盟女性部主催の大学習会も京都では実施しないこととなり、11月27日(土)に滋賀県の「キラリエ草津」で開催。講師はオフィス風の器主宰者の庄崎隆志氏「障害者権利条約と聴覚障害の高齢者のカラダ」。

エ. 第40回兵庫県ろうあ女性のつどい

9月4日(土)実施を緊急事態宣言により、中止としました。

オ. 女性セミナー（社会生活教室）

兵庫県立聴覚障害者情報センター主催の社会生活教室『女性セミナー』を令和4年2月5日(土)午後、Zoom配信を同時に行なうハイブリッド形式で実施。講師は岐阜県ろう者劇団いぶき座代表の河合依子氏「コロナをぶっ飛ばそう！～オンラインでワークショップを楽しむ～」。

カ. 第51回全国ろうあ女性集会

10月1日(金)～3日(日)秋田県秋田市で開催予定のところ、7月に全日本ろうあ連盟を通して、コロナ禍による開催中止となりました。

キ. 女性部会

令和4年1月30日に神戸市立総合福祉センターで実施。出席22名の女性部会委員で令和4年度の事業や企画についての話し合い、地域の情報交換を行ないました。

ク. デフ女子会（新年会）

飲食を伴なう新年の交流は、新型コロナウイルス感染症拡大防止で実施しませんでした。

ケ. 第46回全国委員会・第48回全国ろうあ女性研修会

1月22日(土)の全国委員会および1月23日(日)の女性研修会はコロナ変異ウィルスのオミクロン株の感染急拡大で中止。全国委員会は書面決議で実施されました。

(2) 事業経過報告

ア. 兵聴協女性部

- ・ 4月18日(日) 第10回定期総会 　　あすてっぴ神戸
- ・ 5月 8日(日) 社会見学「徳島県鳴門観潮・美術館」 　　延期
- ・ 6月12日(日) 同上 　　中止
- ・ 9月 4日(土) 第40回兵庫県ろうあ女性のつどい 　　中止
- ・ 1月30日(日) 女性部会 　　神戸市立総合福祉センター
- ・ 1月30日(日) デフ女子会(新年会) 　　中止
- ・ 2月 5日(日) 社会生活教室「女性セミナー」 　　神戸市立総合福祉センター

イ. 近畿ろうあ連盟女性部

- ・ 4月24日(土) 代議員総会 　　大阪市立大淀コミュニケーションセンター
- ・ 7月11日(日) 第51回近畿ろうあ女性フォーラム(京都) 　　中止
- ・ 11月27日(土) 大学習会&代議員会 　　滋賀県草津市キラリエ草津

エ. 全日本ろうあ連盟女性部

- ・ 10月1日(金)～3日(日) 第51回全国ろうあ女性集会(秋田県) 　　中止
- ・ 1月22日(土) 第46回全国委員会(神戸市) 　　中止⇒書面決議で実施
- ・ 1月23日(日) 第48回女性研修会(神戸市) 　　中止

3. 高齢部

(1) 総括

ア. 日帰り旅行 7月9日(土) 参加者32名 場所:小豆島

3度目の正直—小豆島旅行、令和元年冬から流行し始めた新型コロナウイルス感染症の為、令和元年度・令和2年度旅行会は中止。令和3年度は「日帰りでも良いから旅行を楽しみたい」という声を受けて、例年は2月に実施の旅行を7月9日(金)に実施しました。出発の時は晴れていましたが、小豆島到着時では雨となりました。日生港から小豆島へ渡り、小豆島国際ホテルでリッチな昼食。スタッフがメニューの説明を手話でしてくれました。後オリーブ公園・マツキン醤油記念館・二十四鐘映画村を観光。帰りのフェリーで令和4年度の旅行会について話し合ったところ、1泊旅行が良いという声が多かったです。

イ. 第16回兵庫県ろうあ高齢者グラウンドゴルフ大会 10月30日(土)

場所:三田市立学園小学校。参加者36名

また夏を思わせる良いお天気の中で年齢に関係なくプレーしながら交流会を深めることが出来ました。2年振りの三田市立学園小学校での第16回兵庫県ろうあ高齢者グラウンドゴルフ大会でした。無事終えること出来て、良かったです。

ウ. くりかえす感染症拡大により、社会見学・兵庫県ろうあ者高齢者GG大会・旅行会(日帰りに変更)

中止になりました。

(1) 事業報告

4月17日(土)	第10回高齢部定期総会	長田区文化センター別館
5月15日(土)	第1回役員会	明石 (7名)
6月27日(土)	第1回5役会議	福祉センター (5名)
7月 9日(金)	令和3年度日帰り旅行	小豆島 (32名)
9月 4日(土)	第2回役員会	明石 (7名)
9月20日(祝)	第35回兵庫県ろうあ者敬老会	長田区文化センター (中止)
9月20日(祝)	2021年度こうれいしゃ講演会	長田区文化センター (中止)
10月17日(日)	第2回5役会議	明石 (5名)
10月30日(土)	第16回兵庫県ろうあ者グラウンドゴルフ大会	三田 (36名)
11月21日(土)	第3回役員会	明石 (4名)
2月12日(土)	第4回役員会	明石 (5名)
2月20日(日)	令和3年度こうれいしゃ講演会	(中止)
3月 5日(土)	組織部会議	兵庫県聴覚障害者情報センター (2名)
3月20日(日)	第5回役員会	姫路 (7名)

近畿

5月 6日(水)	第1回近畿ろうあ連盟高齢部代議員会議	大阪 (2名)
9月 4日(土)	第42回近畿ろうあ高齢者大会&第32回GB競技大会&	
~5日(日)	第12回GG競技大会	大阪 (中止)
10月18日(水)	第6回近畿ろうあ高齢部幹部研修会	滋賀 (中止)
11月17日(水)	第2回 近畿ろうあ連盟高齢部代議員会議	大阪 (2名)
	近畿ろうあ高齢者のつどい	大阪 (14名)
3月 9日(水)	第3回近畿ろうあ連盟高齢部代議員会議	大阪 (2名)
6月12日(土)	第69回全国ろうあ者大会・高齢者のつどい	栃木 (中止)
9月23日(金)	第33回全国ろうあ高齢者大会&第35回ゲートボール競技大会	
~9月26日(日)	&第12グラウンドゴルフ大会	岐阜 (中止)

4. スポーツ部

(1) 令和3年度 総括報告

令和2年1月に世界蔓延した新型コロナウイルス(COVID-19)感染拡大は収まらないまま、3年目を迎え、依然として全日本ろうあ連盟下加盟団体の令和3年度行事はほとんどが中止または延期となりましたが、スポーツ部としてはオンライン会議を活用し、三大大行事については新型コロナウイルス感染症対策(検温・マスク着用・ソーシャルディスタンス)を行いながら、無事開催を終えることができました。

ア. 近畿ろうあ者体育大会・全国ろうあ者体育大会 ← コロナの影響により中止

5月開催の第48回近畿ろうあ者体育大会(京都)および、9月開催の第55回全国ろうあ者体育大会(兵庫)、第44回全国ろうあ者冬季体育大会(福井)も、新型コロナウイルス感染拡大により中止となりました。近畿ろうあ者体育大会の代替としてオンライン企画を2月19日に実施しました。

イ. スポーツ部三大大行事

1) 兵庫県ろうあ者ソフトボール大会

川西市東久代運動公園球技場において、チームおよび個人申込者で集めた4チームあわせて約37名の参加者が集い、優勝7連覇の姫路チームを止め阪神チームが優勝を果たしました。コロナ対策として、マスクを配布、手指除菌液を設置しました。子どもを含めた家族での参加が多く、子ども共々楽しく交流ができました。来年度開催地は、三田市（丹有但馬ブロック）の予定です。

2) スポーツふれあい

神戸市立市民福祉スポーツセンター7階体育館においてポッチャ体験会を開催し、子どもも含めた14名の参加がありました。講師指導のもとルールを覚えて楽しむことができました。

3) 兵庫県ろうあ者社会生活教室

コロナによるまん延防止等重点措置の適用延長に伴い、前年度同様にオンサイト（現地開催）からZoomによるオンライン講演会に切り替え開催し、約26名ほどの参加がありました。講師の全日本ろうあ連盟青年部中央委員である徳岡英一さんも鳥取県からオンラインで青年部とスポーツ部の相互メリットをうまく活用していくお話をいただきました。

ウ. 全国・国際の動き

第21回全国障害者スポーツ大会(三重とこわか大会) …コロナの影響により開催中止

8月以降、これまでにない脅威的なコロナ感染拡大とともに、全国の感染状況も悪化し、三重県も緊急事態宣言発令することとなったことをうけ、三重とこわか国体・三重とこわか大会の両大会が中止になりました。12月以降、競技別に順次代替大会を開催しましたが、1月から2月まで予定していたすべての代替大会がオミクロン株感染拡大を踏まえ中止となりました。

第44回全国ろうあ者冬季体育大会(福井県) …コロナの影響により開催中止

福井県で初めての開催予定で準備をしてきたが、1月13日に福井県で新型コロナ感染拡大警報が発令され、また、1月21日より全国13都県でまん延防止等重点措置が適用されることを受け、大会主管団体である福井県ろうあ協会より中止の要望が出されました。

第24回夏季デフリンピック競技大会（ブラジル） …コロナの影響により開催延期

ブラジルのカシアス・ド・スルにて開催予定だった第24回夏季デフリンピックは、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により開催延期されることが2021年2月3日付けでICSD（国際ろう者スポーツ委員会）から発表されました。なお、開催地の変更はありません。

（当初日程）令和3年12月5日～21日 → （延期日程）令和4年5月1日～15日

（2）令和3年度 事業経過報告

第10回スポーツ部総会

【日程】令和3年4月18日(日) 10:00～12:00

【場所】あすてっぴKOBÉ 2階セミナー室3

【出席】8名（役員含む）、監事

第48回近畿ろうあ者体育大会 監督主将会議 ← 《コロナにより中止》

【日程】令和3年5月9日(日) 13:30～16:00

【場所】京田辺市社会福祉センター

第48回近畿ろうあ者体育大会（京都） ← 《コロナにより中止 → 代替オンライン企画実施》

【日程】令和3年5月22日(土)～23日(日) 【場所】競技別分散開催

↳ 令和4年2月19日(土) 代替オンライン企画「スポーツごはん・デフヨガ」
【場所】奈良市西部生涯スポーツセンター 【参加】13名

第21回全国障害者スポーツ大会／聴覚障害者バレーボール競技 近畿地区予選大会
← 《コロナにより中止》

【日程】令和3年6月6日(日) 9:00～16:00
【場所】和歌山県立体育館(和歌山市)
【参加】兵庫県男子選手10名・兵庫県女子選手11名の申し込みがあった

第55回全国ろうあ者体育大会(兵庫) ← 《コロナにより中止》

【日程】令和3年9月16日(木)～19日(日)
【場所】尼崎市、神戸市、西宮市、芦屋市、宝塚市
【参加】38名(卓球、陸上、バレー男女、バドミントン、テニス、ボウリング)

第40回兵庫県ろうあ者ソフトボール大会

【日程】令和3年11月21日(日) 9:00～16:00
【場所】川西市東久代運動公園 球技場(川西市)
【参加】姫路チーム9名、阪神チーム9名(三田6名、川西2名、神戸1名)、バリボーチーム9名(神戸3名、明石2名、尼崎2名、西宮1名、加古川1名)、ヤングオブ兵庫10名(西宮1名、加古川1名、西脇1名、尼崎1名、神戸2名、淡路2名、稲美町2名)合計37名
【結果】優勝：阪神(三田&川西)、2位：姫路、3位：ヤングオブ兵庫、4位：バリボー

兵庫県ろうあ者社会生活教室(青年部合同企画) ← 《オンライン開催に変更》

【日程】令和4年2月6日(日) 9:30～12:00
【場所】ウィズあかし 学習室803
【内容】講演：青年部会員&スポーツ会員 引退後のろうあ運動移入について
講師：徳岡 英一氏
【参加】ZOOM参加→20名 対面参加→6名(役員含む)

第44回全国ろうあ者冬季体育大会(福井) ← 《コロナにより中止》

【日程】令和4年2月11日(金・祝)～13日(日)
【場所】九頭竜スキー場、DAINOU スポーツランド
【競技】パラスキー競技、スキー技術競技、パラソノボード競技、カヌースキー競技
【参加】兵庫からは、なし

スポーツふれあい2021「ボッチャ体験」

【日程】令和4年3月19日(日) 14:00～16:30
【場所】神戸市立市民福祉スポーツセンター7階体育館
【参加】9名(姫路1名+子、西宮2名+子、尼崎3名+子、加古川1名、神戸1名、明石1名)

《県》

4月10日(土)	決算会計監査	(兵庫県立聴覚障害者情報センター)
7月31日(土)	組織部会議 スポーツ部欠席	(兵庫県立聴覚障害者情報センター)
9月1日(水)	青年部&スポーツ部合同会議《オンライン》	(ZOOM)
10月11日(月)	第1回役員会《オンライン&オンサイト》	(アスパ北館)
11月5日(金)	クラブ懇談会 出席12名	(神戸総合福祉センター)
11月6日(土)	組織部会議 出席2名	(兵庫県立聴覚障害者情報センター)
	ソフトボール大会グラウンド下見&打合せ	(川西市東久代運動公園)
12月11日(土)	行事調整委員会出席	(兵庫県立のじぎく会館)
12月11日(土)	第2回役員会	(元町ガスト)
令和4年		
1月20日(木)	第3回役員会	(東部在宅障害者福祉センター)
3月5日(土)	組織部会議 出席2名	(兵庫県立聴覚障害者情報センター)
3月31日(木)	第4回役員会	(東部在宅障害者福祉センター)

《近畿》

4月24日(土)	6府県体育部長臨時会議	(京都)
5月8日(土)	午後/第1回近畿体育部常任委員会《コロナ中止→5/23延期》	(京都)
5月9日(日)	午前/近畿体育部2020年度全体委員会《コロナ中止》	(京都)
5月23日(日)	第1回近畿体育部常任委員会《コロナ中止→7/11延期》	(京都)
7月11日(日)	第1回近畿体育部常任委員会	(奈良)
9月12日(日)	6府県体育部長臨時会議《オンライン》	(zoom)
10月31日(日)	6府県体育部長臨時会議	(奈良)
11月23日(祝)	第3回近畿体育部常任委員会	(奈良)
令和4年		
2月4日(金)	6府県体育部長臨時会議《オンライン》	(zoom)
2月19日(土)	第48回近畿ろうあ者体育大会代替オンライン企画	(奈良)
2月20日(日)	第4回近畿体育部常任委員会	(奈良)

《全国・国際》

10月15日(金)	ブロック体育部長・加盟団体体育部長懇談会《オンライン》	(zoom)
-----------	-----------------------------	--------

5. 全国手話検定試験事業

(1) 全国手話研修センターが主催する「全国手話検定」の兵庫会場として当法人が準備を進め、試験実施に協力しました。(5級～1級)

ア. 5級・4級試験の実施

日 程：令和3年10月9日(土)

会 場：神戸市立総合福祉センター

受験者：5級40名、4級54名

イ. 3級・2級試験の実施

日 程：令和3年10月10日（日）

会 場：神戸市立総合福祉センター

受験者：3級53名、2級53名

ウ. 準1級・1級試験の実施

日 程：令和3年10月16日（土）

会 場：神戸市立総合福祉センター

受験者：準1級21名、1級16名

エ. 団体受験の実施

2月11日（祝）5級18名 会場：宍粟市防災センター

2月20日（日）2級9名 会場：淡路ふくろうの郷

6. 第17回兵庫県聴覚障害者文化祭 ⇐※コロナ感染対策のため中止

日 時：令和3年11月14日（日）午前11時00分～午後3時00分

場 所：神戸市立灘区民ホール

2階兵庫県立聴覚障害者情報センター、5階マリーホール

7. 第38回兵庫県ろうあ者大会 ⇐※コロナ感染対策のため中止

日 時：令和3年6月20日（日）午前10時00分～午後4時00分

場 所：加古川市総合福祉会館（大ホール）

8. 第48回兵庫県ろうあ者新年大会兼成人祝いのつどい

日 時：・令和4年1月16日（日）午後1時00分～午後4時00分

場 所：・明石市立 西部市民会館

内 容：・第一部 オープニング 貴春太鼓
大会式典 (来賓、来賓祝辞等)
成人祝いのつどい (新成人紹介、励ましのことは、記念品贈呈など)
寅年生まれ祝いのつどい (紹介、お祝い、記念品贈呈)
・第二部 記念講演
「やさしい社会に向かって」 講師 明石市長 泉 房穂 氏
次回開催地への引継ぎ 明石市から尼崎市へ
福引抽選会

参加者：280名

9. 第40回兵庫県ろうあ者ソフトボール大会

日 程：令和3年11月21日（日）9：00～16：00

場 所：川西市東久代運動公園 競技場

参 加：姫路チーム9名、阪神チーム9名)、バリボーチーム9名)、ヤングオブ兵庫10名
ワンピースチーム10名 合計31名

結 果：優勝：阪神（三田&川西）、2位：姫路、3位：ヤングオブ兵庫、4位：バリボー

10. 第7回兵庫県ろうあ者討論集会

日 程：令和3年10月31日（日）

時 間：13：30～16：00

場 所：東部在宅障害者福祉センター

参 加：56名

内 容：「ろう者の取り巻くスポーツとは？」～2025年デフリンピックを日本で開催を！～

11. 幹部研修会

第1回幹部研修会

日 程：令和3年7月31日（土）

時 間：13：30～15：30

場 所：兵庫県立聴覚障害者情報センター

参 加：37名

内 容：「意思疎通支援事業の現状と課題について」

第2回幹部研修会

日 程：令和4年2月12日（土）

時 間：13：30～15：30

場 所：兵庫県立聴覚障害者情報センター

参 加：（公社）兵庫県聴覚障害者協会理事&監事【13名】

内 容：「会員拡大について」

1.理事会

		第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回
		令和3年/ 05/15	令和3年/ 06/19	令和3年/ 08/05	令和3年/ 10/23	令和3年/ 12/11	令和4年/ 01/15	令和4年/ 03/26
理事長	本郷 善通	出	出	出	出	出	出	出
副理事長	小林 泉	出	出	出	出	出	出	出
理事	嶋本 恭規	出	出	出	出	欠	出	出
	嘉田 真典	出	出	出	出	出	出	出
	仲井 正	出	出	出	出	出	出	出
	橋詰 一則	出	出	欠	出	出	出	出
	岩本 吉正	出	出	出	出	欠	出	出
	山本 紋子	出	出	出	出	出	出	出
	古 隆喜	出	出	出	出	出	出	出
	足立 達哉	出	出	出	欠	出	出	出
	大塚登代子	欠	出	出	出	出	出	欠
	中村 泰輔	出	出	出	出	出	出	出

監事	吉野 浩	出	出	出	出	出	出	出
	井谷 亮	出	出	出	出	出	出	出
	川上 能壽	出	出	出	出	出	欠	出

2. 総会

第10回総会 令和3年6月19日(土) 14時~16時

兵庫県立聴覚障害者情報センター(

出席 40人 委任 464人

[議事結果]	不承認	保留	承認
第1号議案 議長選出の件	0名	0名	40名
第2号議案 令和2年度事業報告の件	0名	0名	40名
第3号議案 令和2年度決算報告及び令和2年度監査報告の件	0名	0名	40名
第4号議案 定款の一部改正に関する件	0名	0名	40名
第5号議案 総会運営規則の一部改正に関する件			

3. 事務局

- ・協会の実務全般のとりまとめ

協会が実施する事業（公益事業、独自事業、委託事業など）を推進するにあたって必要な実務作業を行い、事業の円滑化を図ると共に行政・関係機関・団体等との連携及び関係づくりにつとめました。

4. 令和3年度人事異動報告

(1) 採用

令和3年4月1日	橋 桂子	(たじま聴覚障害者センター／嘱託職員)
令和3年4月1日	木崎 奈津希	(本部事務所／正職員)
令和3年4月5日	宮垣 亜津子	(たじま聴覚障害者センター／パート職員)
令和3年7月12日	張 堯棟	(本部事務所／正職員)

(2) 異動

令和3年5月10日	村瀬 雅美	(兵庫県立聴覚障害者情報センター →たつのころうあハウス)
令和4年2月1日	張 堯棟	(本部事務所→たつのころうあハウス)

(3) 退職・契約終了

令和3年12月31日	幸泉 正子	(本部事務所／パート職員)
令和4年2月28日	宮内 友希	(兵庫県立聴覚障害者情報センター／パート職員)
令和4年3月31日	塩濱 浩美	(兵庫県立聴覚障害者情報センター／正職員)
	岡 涼子	(たじま聴覚障害者センター／正職員)
	橋 桂子	(たじま聴覚障害者センター／嘱託職員)
	上村 ゆう子	(たじま聴覚障害者センター／嘱託職員)
	土出 明美	(たじま聴覚障害者センター／パート職員)
	堀島 景子	(はりまふくろうの家／嘱託職員)

(1) 近畿、全国

ア. 第36回近畿ろうあ者将棋大会

日 時：令和3年7月22日（木・祝）10:00～17:00

場 所：神戸市立総合福祉センター

内 容：開会式、個人戦、団体戦、表彰式

参加者：25名

イ. 近畿ろうあ連盟幹部研修会（中止）

日 時：1月22日（土）～23日（日）

会 場：神戸市勤労会館

内 容：「手話言語法制定運動と手話言語条例制定後の現状と課題」

講 師：一般財団法人全日本ろうあ連盟理事長 石野富志三郎氏

ウ. 第55回全国ろうあ者体育大会（中止）

日 時：9月16日（木）～19日（日）

会 場：尼崎市、神戸市、西宮市、芦屋市、宝塚市、川西市

(2) 兵庫県関係

- ・兵庫県くすの木学級運営委員会への協力（兵庫県教育委員会）年2回（神戸）【本郷】

(3) 近畿ろうあ連盟及び近畿の行事への協力と代表派遣

- ・第48回近畿ろうあ者体育大会（京都）令和3年5月22～23日（中止）
 - ・第71回近畿ろうあ者大会（滋賀）令和3年10月3日
 - ・第10回近畿ろうあ者福祉・労働フォーラム（滋賀）令和2年11月20日（中止）
 - ・第31回近畿ろうあ教育フォーラム（滋賀）令和4年2月5日（中止）
 - ・第32回近畿手話サークルフォーラム（滋賀）令和4年3月27日（オンライン）【嘉田】
 - ・2021年度近畿ろうあ連盟幹部研修会（兵庫）令和4年1月22日～23日（中止）
 - ・近畿ろうあ連盟評議員会 令和4年1月23日神戸市勤労会館（オンライン）
【本郷、嘉田、山本紋、古、足立、岩本、橋詰】
 - ・第1回近畿ろうあ連盟代表者協議会（大阪）令和3年4月29日（書面表決）
 - ・第2回近畿ろうあ連盟代表者協議会（兵庫）令和4年1月23日神戸市勤労会館（オンライン）
【本郷、小林、嶋本、山本】
 - ・近畿地区専従職員研修会（滋賀）令和4年2月4日（中止）
 - ・第1回近畿ろうあ連盟手話対策部会議・三団体会議 令和3年5月8日（オンライン）【嘉田】
 - ・第2回近畿ろうあ連盟手話対策部会議・三団体会議 令和3年7月3日（オンライン）【嘉田】
 - ・第3回近畿ろうあ連盟手話対策部会議・三団体会議 平成3年11月3日（オンライン）【嘉田】
 - ・第4回三団体会議（京都）令和4年3月27日（オンライン）【嘉田】
- (4) 全日本ろうあ連盟、全国ろうあ者大会への協力と代表派遣
- ・第9回（通算第72回）一般財団法人全日本ろうあ連盟評議員会（オンライン）
【本郷、小林、嶋本、嘉田、山本、岩本、足立、古、橋詰】
 - ・第69回全国ろうあ者大会（栃木）平成3年6月10日～13日（中止）

- ・第55回全国ろうあ者体育大会（兵庫） 令和3年9月16日～19日（中止）

3. 各種委員会

(1) 情報センター運営協議会

ア. 会議日程：4/4, 6/26, 7/28 要望書提出：

イ. 場所：神戸市立総合福祉センター・兵庫県立聴覚障害者情報センター

ウ. 構成団体：兵庫県聴覚障害者協会・兵庫県難聴者福祉協会・神戸ろうあ協会・神戸市難聴者協会・
兵庫県手話サークル連絡会・兵庫県要約筆記サークル連絡会・兵庫手話通訳問題研究会
神戸市手話サークル連絡会・要約筆記こうべ

エ. 活動内容

令和4年度に向けた要望書をまとめて県と神戸市に提出しました。

(2) ひょうご聴障ネット

ア. 目的

兵庫県下の聴覚障害者関連福祉事業への支援を行うとともに、聴覚障害者福祉の向上と聴覚障害者に対する社会的啓発に努める。聴覚障害者関連福祉事業の安定した運営を図るには具体的な支援の取り組みが必要になるため、「聴覚障害者の『完全参加と平等』の実現をめざす会」と「ひょうご高齢聴覚障害者施設建設委員会」の活動をひきつぐ団体として設立しました。

イ. 令和3年度の活動

（主催事業・行事）

- ・総会(書面総会 返信158名)
- ・夏の学習会(中止)
- ・兵庫県聴覚障害者文化祭(中止)
- ・年4回「ひょうご聴障ネットニュース」発行
- ・役員会 毎月第3木曜日→令和3年度は3回開催(内2回は書面会議)
- ・事務局会議 毎月第2、4木曜日→令和2年度は全10回(内リモート会議5回)
- ・令和4年ふくろうカレンダーの作成、販売
- ・兵庫県議会訪問(12月9日)

（協力事業・行事）

- ・ふくろうふれ愛まつり(中止)
- ・旧優生保護法被害国賠訴訟 傍聴呼びかけ等

〈緊急支援〉

事業所に一律50万円の支援

おのころの家、おのころ屋、たつのころあハウス、たつのご工房、
にしのみや聴覚障害者センター、はりまふくろうの家、神戸長田ふくろうの杜
神戸平野ふくろうの樹、淡路ふくろうの郷、夢ふうせん

支援金授与(各100万円の支援)

神戸長田ふくろうの杜、神戸平野ふくろうの樹

〈会員・資産〉

令和4年3月31日現在 会員数363人・74団体

(内訳：個人/297、月払61、特別/5 団体/74)

令和4年3月31日現在 資産残高20,199,436円

〈兵聴協との関わり〉

- ・兵聴協から代表委員 1 名・事務局次長 1 名・委員 2 名を派遣。その他学習会などで協力。
- ・「ろうあ兵庫」で毎月ひょうご聴障ネットの活動を会員に報告、PRを行いました。

(3) 兵庫のろう教育を語り合う会

ア. 定例会議：第2木曜日開催 Zoom 19:30～

イ. 主な活動

- ・第22回ろう教育フォーラム in 兵庫
日 時：9月25日（土）14:00～15:30
会 場：オンライン（Zoom）
内 容：「私の生い立ち ～私が受けた教育とスポーツ～」
講 師：岩本 菜奈 氏
参加者：72名

ウ. 機関紙掲載

「ろうあ兵庫」「ひょう通研ニュース」「県サ連だより」に活動内容の報告やろう教育の情報などを掲載。

エ. 県下、県外でのその他の活動

- ・コロナの影響より活動自粛

オ. 今後の方針

今後も聴覚特別支援学校や難聴学級を実施している一般学校の連携を図りながら、教育環境や子ども、保護者の置かれた状況に柔軟に対応していけるよう努めます。学校側の企画にも積極的に協力し、学校側にも当協会の企画への参加を促進するなど、更なる連携強化を図ります。

- ・「第23回ろう教育近畿フォーラム in 兵庫」と「第26回ろう教育学習会」への取り組み
- ・聴覚障害児を持つ保護者や教員との交流や情報提供、ネットワーク作り（相談、訪問、交流など）
- ・県下聴覚特別支援学校や行政関係（県・市教育委員会）との連携

(4) 手話通訳制度化推進委員会

ア【定例会議】

第397回～第407回 Zoom 会議

3/26・4/23・7/8・7/30・8/27・9/24・11/29・12/25・1/29・2/19・3/26

イ【構成委員】 計6名

（公社）兵庫県聴覚障害者協会（嘉田・岩本） 兵庫県手話サークル連絡会（星・槇本）

兵庫手話通訳問題研究会（伊永・仲井） 神戸聴覚特別支援学校（若松）

ウ 【活動内容】

1. 丹波市意思疎通支援者派遣事業要綱改正について

丹波ろうあ協会と登録通訳者代表、制度化委員が要綱の後退した項目について話し合い、市長との面談をし、市に対し意思疎通支援事業の要綱と、聴覚障害者福祉に対応する施策に関する要望書の提出を一緒に取り組んだ。要望の即時実現には至っていないが、今後も丹波ろうあ協会と通訳者が定期的に集まり話し合うことを制度化として提案した。また、今後の取り組みとして丹有ブロックとして3地域が集まり話し合いがしたい。

活動日：9月11日（土）13:30～ 柏原住民センター

丹波ろうあ協会、登録手話通訳者との話し合い 出席者：嘉田、岩本、伊永、仲井

11月11日(木) 15:30～ 丹波市役所本庁1階 会議室

要望書の提出に同行 出席者：嘉田

2. 聴覚特別支援学校向けパンフレット “手話通訳制度って何？” の内容を更新し配布した。
3. 神戸聴覚特別支援学校を訪問し、高等部3年生を対象に制度化委員会で作成したDVDを見てもらい、パンフレットを活用して地域の設置手話通訳者のことや意思疎通支援事業、ハローワークの手話協力員の制度について紹介した。積極的な質問もあり、感想文では手話通訳や要約筆記の制度を使ってみようと思うという内容が多く、制度について理解をし、自ら相談・発信できる力を身につけるよい機会となった。また、「ろう者、聴覚障害者として堂々と生きていこうと思う。孤独を感じてもどこかにわかってくれる人がいると思って強く生きていこうと思う。」という内容もあり、社会人となることへの期待と不安が入り混じった緊張感が伝わってきた。

訪問日：令和4年2月3日(木) 13:20～ 生徒出席者 8名 訪問者：岩本、仲井

※姫路聴覚特別支援学校への訪問はコロナ禍の影響により中止となった

エ 【総括】

コロナ禍で恒例のなるほどザ・制度化学習会が開催できず、様々な活動が進まないことに焦りを感じるが、定例会議をZoomで開くことで協議内容を確認し委員同士の情報共有と意思疎通を図ることができた。今年度は丹波ろうあ協会の要望活動に地域とともに取り組んだが、今後他の地域の活動にもともに取り組んでいきたい。また、今年度できなかったなるほどザ・制度化学習会と姫路聴覚特別支援学校への訪問を来年度はぜひ実現したい。

(5) 兵庫手話健康対策委員会

ア. 定例会議：毎月第2月曜日 19:00～21:00 神戸市立総合福祉センター

4/12(月) 6/14(月) 8/10(月) 10/13(月) 12/15(水)
2/14(月) 12/14(月) 2/20(土)

イ. 構成委員：(兵聴協) 仲井・中村
(県サ連) 苗村・江木
(兵通研) 秦野・鈴木

ウ. 活動内容

- ・11月3日(火・祝) 第27回近畿けいわんフォーラム in 和歌山
※新型コロナウイルス感染拡大のため政府及び行政からの自粛要請による中止
- ・8月/24日(火) 訪問依頼 → 延期 2月22日(火) 19時～
場所：大黒地域福祉センター
講師：仲井 正氏
- ・1月26日(水) 10時～ 訪問依頼
場所：三田市総合福祉保健センター
講師：仲井 正氏
- ・3月19日(土) 情報センター学習会 運営協力

エ. 啓発事業

- ・新年大会、学習会で「けいわん体操DVD」販売し自宅でできる体操をすすめていく
- ・ろうあ兵庫、県サ連だより、兵通研ニュースに「けいわんニュース」を掲載

- ・学習会、けいわん検診など行事で「STOP・ザ・けいわんパートⅡ」「身体のストレッチ」冊子紹介

オ. 総括

- ・昨年度より2ヵ月に1回の会議であるが、コロナ禍でも集まって開催できた。
- ・今年度は訪問（オルグ）の依頼をうけたがコロナにより延期となっている。
- ・けいわん体操のDVDを作成し、気軽に体操をすることで予防、啓発につなげたい。
- ・学習会の企画・運営をし啓発につなげたい。

(6) 災害対策委員会

ア. 委員会

Zoom 会議 7月19日、8月16日、9月27日、10月18日、2月28日(月)

対面 11月27日聴覚障害者情報センター 3月28日尼崎市小田北生涯学習プラザ

イ. 構成委員：(兵聴協) 嘉田、岩本 (県サ連) 平塚、竹内 (兵通研) 鞍富、上田

ウ. 活動内容

1. 災害に対する県下の各ろうあ協会へのアンケート集約
兵庫県へ防災対策に対する働きかけ、
公共施設へのアイドラゴン設置状況の確認
2. 高潮・津波発生時のフラッグの啓発と聴覚障害者支援の為にバンダナ製作への意見協力
3. 1月17日(月)「ひょうご安全の日のつどい」の取材、『ろうあ兵庫』へ掲載
4. 県聴覚障害者情報センター・学習会協力「防災学習会」1月19日(水)

エ. 総括

委員会として、新型コロナウイルスの流行により、「聴覚障害者文化祭」の中止や「ひょうご安全の日のつどい」の出展中止などで思ったほどの啓発活動や集まったの会議もできなかったが、オンラインや防災に関する情報をろうあ兵庫に掲載するなど取り組みを続けました。

今後も災害時の聴覚障害者への情報保障や聴覚障害者だけではなく広く県民に障害者問題への理解を頂き、障害のある人々だけではなく、やさしい社会を求めて地域の活動の取り組みをサポートし、委員会活動の充実を図りながら積極的に関わっていかねばと実感しております。

(7) 聴覚障害者の医療を考える会

ア. 聴覚障害者の医療を考える（“いのち”を考える会）

5/27（木）※コロナ禍のため中止

7/22（木）第182回「コロナワクチン」～打って大丈夫なの？変異株にも効くの？～
講師：口分田 真 医師 参加者26名（聴覚障害者13名）

9/30（木）※コロナ禍のため中止

11/7（日）第183回第19回出前“いのち” in 阪神地域（西宮）
「コロナ禍が続く生活で気をつけること」

講師：吉岡 裕樹 医師 参加者32名（聴覚障害者3名）

3/24（木）第184回「働き出した人のメンタルヘルス」～正面きって考えてみる～
講師：小林 和 医師 参加者30名（聴覚障害者15名）

【評価】

- 保険医協会の協力と兵聴協と兵通研医療班の連携により、1987年から34年間継続できている。
 - 開催時は広い部屋を確保し、換気などの感染防止対策を行った。
 - 神戸以外の地域で行う「出前“いのち”」は阪神地域班の協力のもと、西宮市で開催した。地域班から要望を受けて決定したテーマが現状に沿っており、参加者が受け入れやすい内容になった。
 - 出前“いのち”を開催した地域班の方より、地域班でもこういう学習会を開催していけると良いと思ったとの声があった。
- イ. 県内行事に参画し「健康相談・血圧チェック・口腔衛生・お薬相談・検査相談・リハビリ相談コーナー」を設けた
- 行事における各コーナーの利用者件数
 - 6/20（日）第38回兵庫県ろうあ者大会 in 加古川
※コロナ禍のため中止
 - 11/14（日）第17回兵庫県聴覚障害者文化際
※コロナ禍のため中止
 - 1/16（日）第48回兵庫県ろうあ者新年大会兼成人祝いのつどい（明石市立西部市民会館）
健康相談4件、血圧チェック26
 - 3/5（土）～6（日）（特非）神戸ろうあ協会創立100周年記念大会
※コロナ禍のため延期